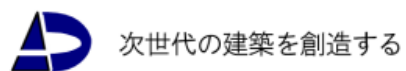


ASCAL/基礎 操作手順書



株式会社 **アークデータ研究所**

[ASCAL/基礎]

目 次

§ 1 「ASCAL/基礎」概要.....	1
§ 2 上部建物概要.....	3
§ 3 ベタ基礎.....	8
3-1 基礎共通計算条件設定.....	8
3-2 個別基礎計算条件設定.....	9
3-3 基礎地盤データ.....	13
3-4 耐圧版設定.....	15
3-5 耐圧版配置.....	16
3-6 基礎計算実行.....	17
3-7 計算書出力.....	18
3-7-1 基礎概要.....	18
3-7-2 地盤概要.....	19
3-7-3 基礎配置.....	20
3-7-4 地耐力検討.....	21
3-7-5 基礎盤検討.....	23
3-7-6 基礎梁検討.....	24
§ 4 杭(PHC)基礎:「ASCAL/杭」不使用.....	27
4-1 基礎共通計算条件設定.....	28
4-2 杭耐力の設定.....	29
4-3 基礎盤設定.....	32
4-4 基礎盤配置.....	33
4-5 基礎計算実行.....	34
4-6 計算書出力.....	35
4-6-1 基礎概要.....	35
4-6-2 基礎配置.....	36
4-6-3 支持力検討.....	37
4-6-4 基礎盤検討.....	40

§ 1 「ASCAL/基礎」概要

本プログラムは木構造一貫構造計算プログラム「ASCAL」のオプションであり、機能は直接基礎及び杭基礎の基礎盤設計ツールです。

ASCAL 上部計算結果から支点反力を読み込み、基礎盤、基礎梁等を計算します。

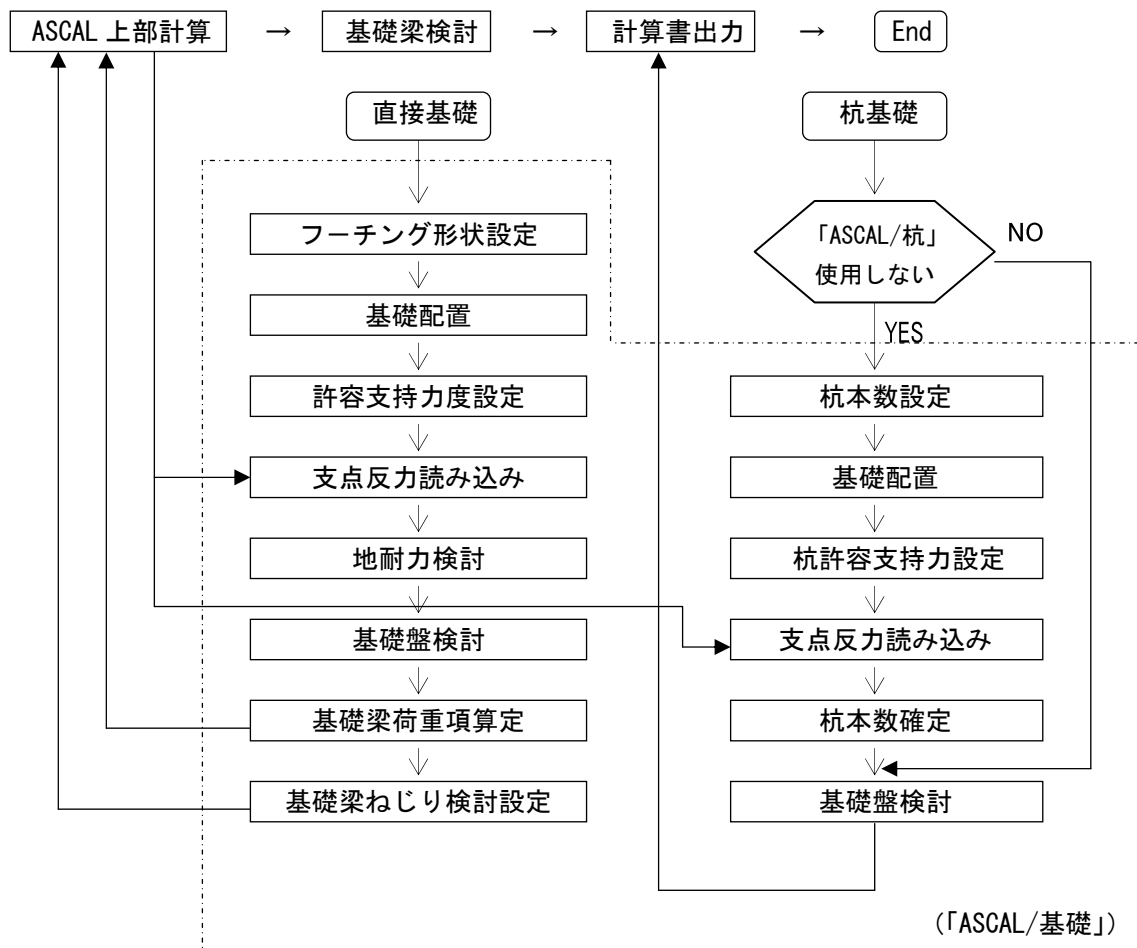
よって基礎の設計用支点反力と上部構造の計算結果支点反力に違いが生じることはありません。

また「ASCAL/基礎」の計算結果を ASCAL 上部計算書の一部に取り込んで（章立てをする）出力します。

ボーリング柱状図データを入力し、試験結果を計算書出力することも可能です。

以下に プログラムのフローおよび機能・特徴を示します。

◆ [プログラムの流れ]



※上図の順序は模式的なものであり、実際には部分的にフィードバックが必要となります。

◆ [プログラムの機能・特徴]

- (1) 対象基礎盤
 - ・ 直接基礎（ベタ基礎・独立基礎・布基礎）
 - ・ 杭基礎（場所打ちコンクリート杭・PHC杭・鋼管杭）
- (2) 地盤データ
 - ・ ボーリング柱状図データを入力し、計算書出力することが可能です
 - ・ 複数のボーリング柱状図の入力・出力が可能です
- (3) 測定位置図
 - ・ 敷地境界、建物形状、測定位置を入力し、ボーリング試験の測定位置図を計算書出力することが可能です
- (4) 地耐力の設定
 - ・ 直接基礎において地耐力値の自動計算が可能です
 - ・ 複数の地耐力値を設定することが可能です
 - ・ 基礎盤ごとに、地耐力値を設定できます
 - ・ 地耐力値を直接入力した場合、自動計算値と比較し、小さい値を採用します
- (5) 杭耐力の設定
 - ・ 「ASCAL/基礎」を単独で用いる場合、杭耐力値を直接入力します
 - ・ オプションソフト「ASCAL/杭」と連動する場合は、「ASCAL/杭」で設定した杭耐力を採用します
- (6) 基礎（盤厚・配筋）自動計算
 - ・ 基礎盤の大きさ（面積）を確定後、盤厚・配筋を自動計算します
 - ・ 盤厚・配筋が入力されていない場合は、自動計算結果を設定します
 - ・ 盤厚・配筋が入力されている場合において、NGであれば自動計算結果を更新します
- (7) 計算結果画面表示
 - ・ 伏図形式で計算結果を画面表示することが可能です
 - ・ 該当部分をクリックすることにより、検定表も画面表示できます
- (8) 水平力に対する基礎梁応力算定
 - ・ 直接基礎（ベタ・布）において水平力のみに対する基礎梁応力算定には弾性支承梁解析を採用します
 - ・ 地盤バネを考慮した解析モデルの解析応力結果から荷重項を算定し、本体モデルにその荷重項を組み込み、再度応力解析を行い、基礎梁応力を算定します
- (9) 基礎梁ねじり検討
 - ・ 直接布基礎においてねじり検討する基礎梁部材を設定し、その部材に対してねじり検討します
 - ・ ねじりモーメントは自動計算しますが、直接入力も可能です
- (10) 転倒モーメント検討
 - ・ 転倒モーメント検討および転倒モーメントによる短期接地圧の検討を行います
- (11) 部分地下
 - ・ 基礎部が部分地下となっている場合も計算が可能です
 - ・ 部分地下基礎部と一般基礎部において、異なる地耐力値の設定が可能です

※ 本操作手順書は「ASCAL」に関する基本操作に慣れている方が対象となります。

※ 手順書中、表示される [Q&A No. -----]は、ホームページに掲載されている Q&A の番号を示します。

§ 2 上部建物概要

当手順書は基礎盤の入力に対するものであり、上部建物に関する ASCAL データは“ASCAL/基礎
手順書用建物モデル“を使用します。

(1) 建物概要

- ・階数 地上 3 階 地下なし
- ・高さ 軒高 11.0m 、 最高高さ 11.6m
- ・建築面積 168.0m² 、 延床面積 504.0m²
- ・1F L の位置 GL+0
- ・用途 1~3 階 事務所

(2) 構造概要

- ・構造種別 鉄筋コンクリート造
- ・架構種別 X・Y 方向 ラーメン構造

(3) 荷重条件

- ・積載荷重

屋 根	床・小梁用	1800N/m ²
	骨組用	1300N/m ²
	地震用	600N/m ²
事務所	床・小梁用	2900N/m ²
	骨組用	1800N/m ²
	地震用	800N/m ²

(4) 部材寸法

- ・柱部材

符号	b × D
1~3C1	800 × 800
- ・大梁部材

符号	b × D
RG1	400 × 700
3G1	400 × 700
2G1	400 × 800
- ・スラブ

S1	t = 250
S2	t = 200
- ・基礎梁

階	符号	FG1	FG2
F	b × D	450 × 2000	550 × 2000

・ 耐圧版

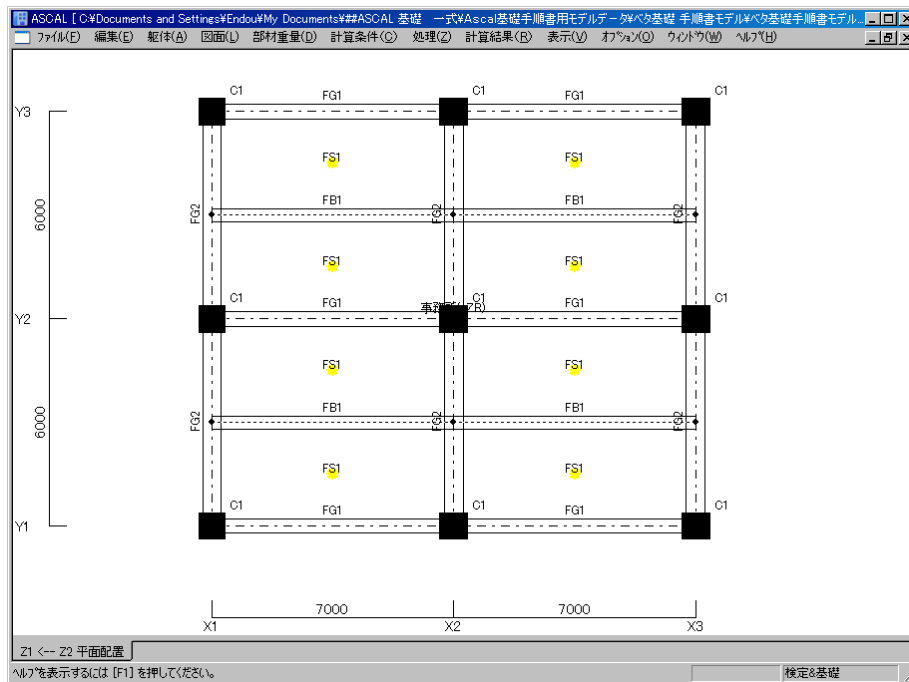
符号	版厚
FS1	t = 400

※使用材料 コンクリート：F c21
鉄筋：D16以下 SD295A

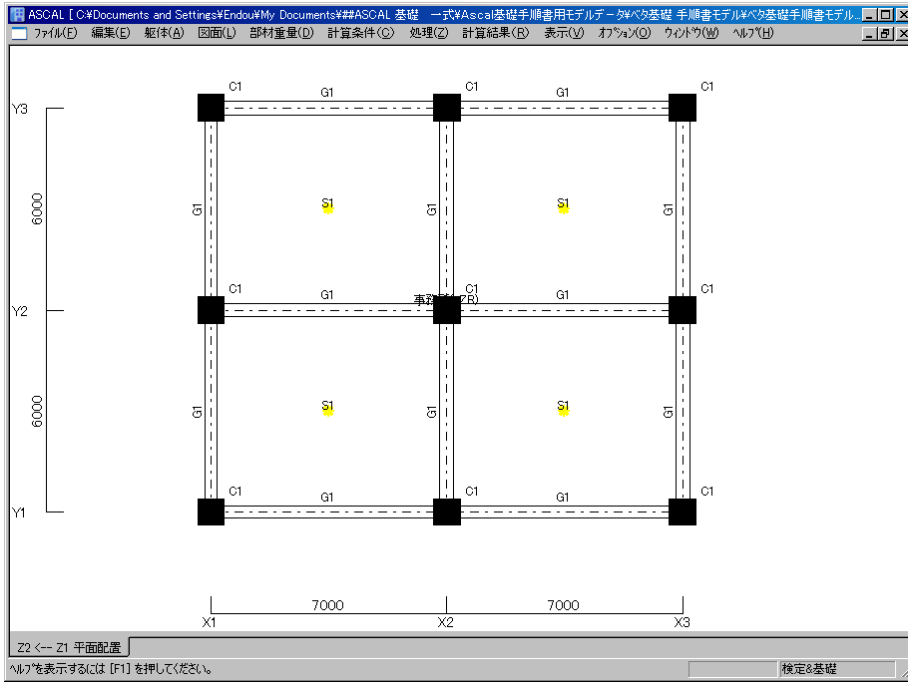
(5) 階高

Z3	3500
Z2	3500
Z1	4000

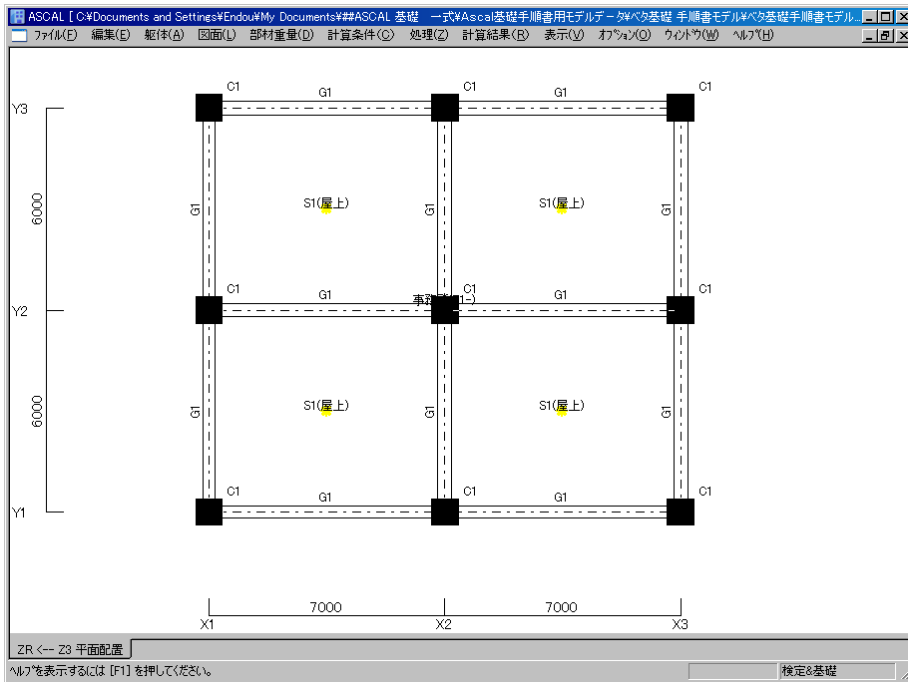
(6) 伏図



基礎（Z1階）伏図

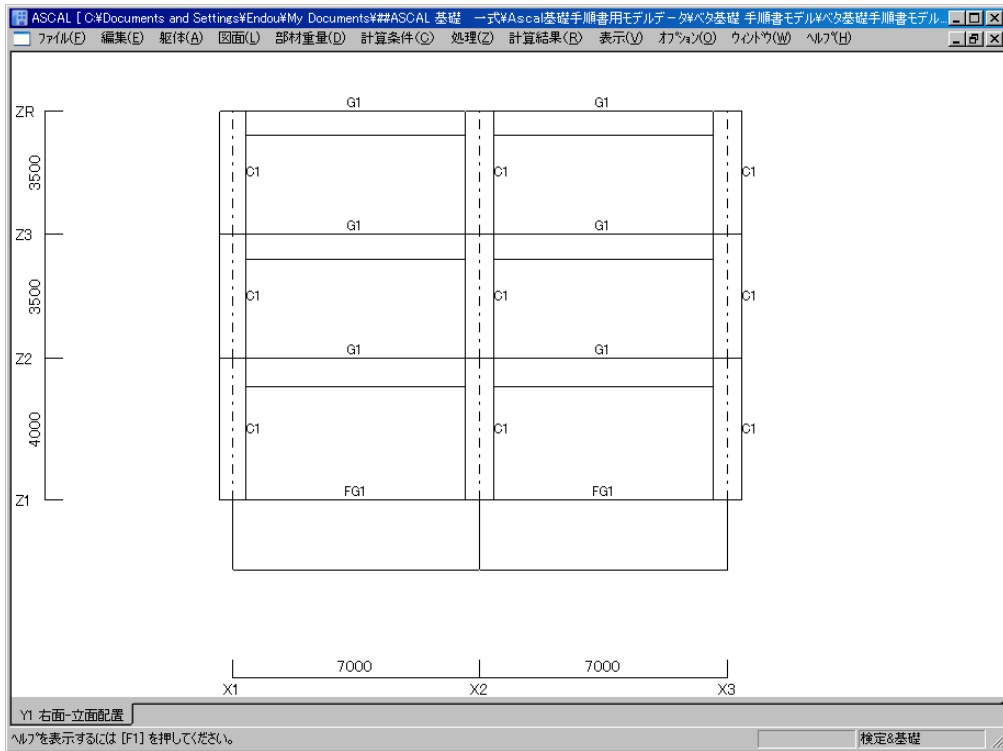


Z2・3階伏図

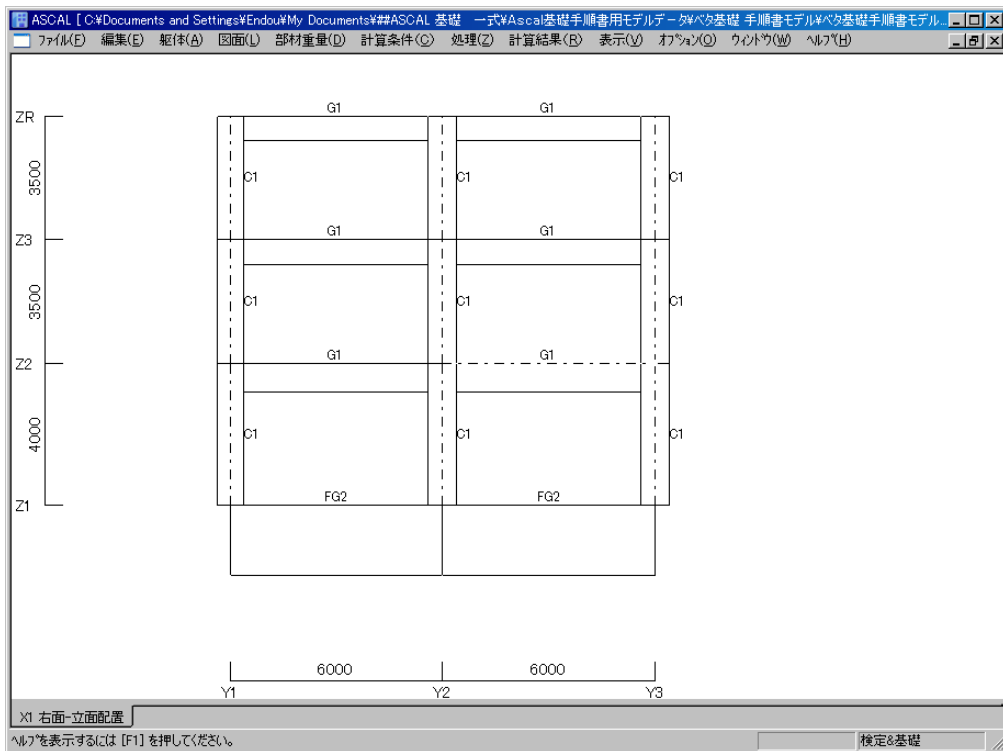


Z R礎伏図

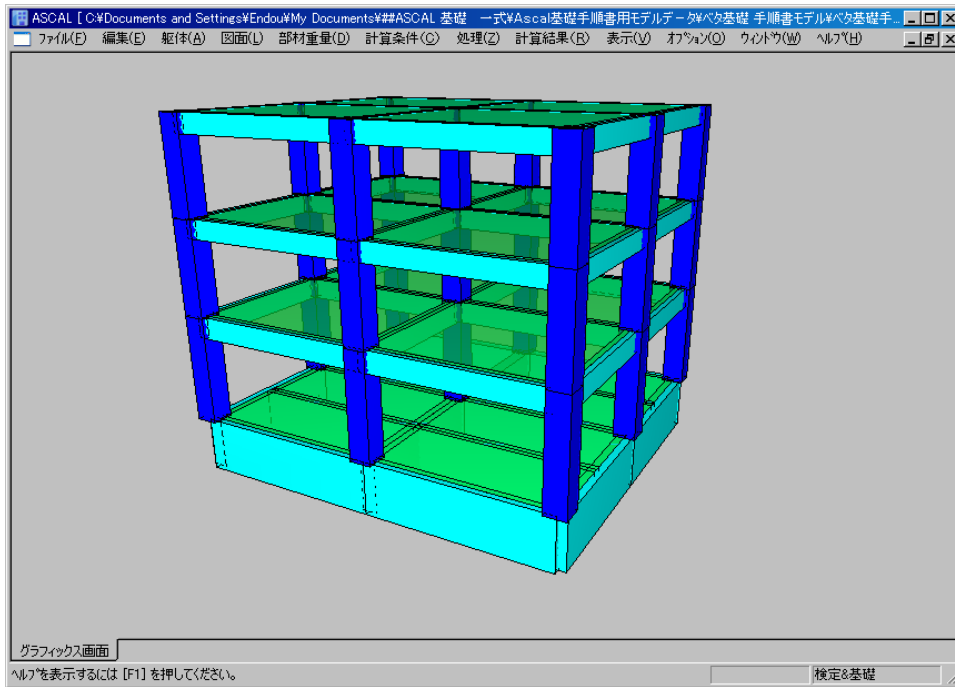
(7) 軸組図



Y1~3 通り軸組図



X1~3 通り軸組図



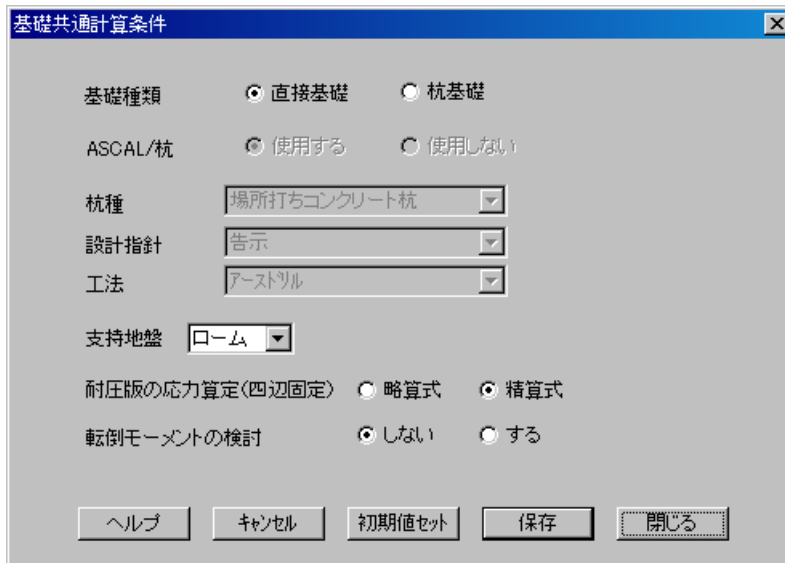
3Dグラフィックス画面

§ 3 ベタ基礎

3-1 基礎共通計算条件設定

上部建物については、用意されたファイル「ASCAL/基礎手順書用モデル」を使用します。

- (1) ASCAL 起動 → 「ASCAL/基礎手順書用モデル」を開く → メニューバー：計算条件 → 「基礎共通計算条件ダイアログ表示」 → 基礎種類：直接基礎選択 → 支持地盤：ローム層 → 保存 → 閉じる



- (2) メニューバー：処理 → 応力計算以上の計算をします → 基礎計算が可能な設定になります



3-2 個別基礎計算条件設定

- (1) メニューバー：計算条件 → 個別基礎計算条件 → 「基礎共通計算条件」ダイアログ表示
→ 必要項目を下記のように入力 → 保存 → 閉じる

基礎盤の形状 : 長方形 短辺長さ 12m、 長辺長さ 14m
内部摩擦角 : 0度
粘着力 c : 30 (kN/m²)
根入れ深さ : 2m
支持地盤の単位体積重量 γ_1 : 1.7 (kN/m³)
根入れ土の単位体積重量 γ_2 : 1.7 (kN/m³)
長期許容地耐力 : 80 (kN/m²)

[Q&A No. 11106]

※ 複数の「個別基礎計算条件」を設定する場合

(a) 個別基礎計算条件：2 を設定します

- ・ メニューバー：計算条件 → 個別基礎計算条件 → 「個別基礎計算条件」ダイアログ表示
→ 必要項目を下記のように入力 → 保存 → 閉じる

基礎盤の形状 : 長方形 短辺長さ 12m、 長辺長さ 14m
 内部摩擦角 : 0度
 粘着力 c : 35 (kN/m²)
 根入れ深さ : 2m
 支持地盤の単位体積重量 γ_1 : 17 (kN/m³)
 根入れ土の単位体積重量 γ_2 : 17 (kN/m³)
 長期許容地耐力 : 100 (kN/m²)

個別基礎計算条件

直接基礎 | 杭基礎

ST: 2 (追加、修正、削除したい計算条件番号)

長期許容地耐力自動計算

算定式 $q_a = 1/3(\alpha \cdot c \cdot N_c + \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot \eta \cdot N_\gamma + \gamma_2 \cdot D_f \cdot N_q)$

基礎盤の形状 正方形
 長方形 短辺長さ B(m) 12 長辺長さ L(m) 14
 布(連続)

形状係数 α 1.171428 β 0.32857

内部摩擦角(度) 0

支持力係数 N_c 6.1 N_γ 1 N_q 0

粘着力 c (kN/m²) 35

基礎の寸法効果による補正係数 η 1

根入れ深さ D_f (m) 2

支持地盤の単位体積重量 γ_1 (kN/m³) 17

根入れ土の単位体積重量 γ_2 (kN/m³) 17

長期許容地耐力(kN/m²) 100

地盤のヤング率(kN/m²) 5000

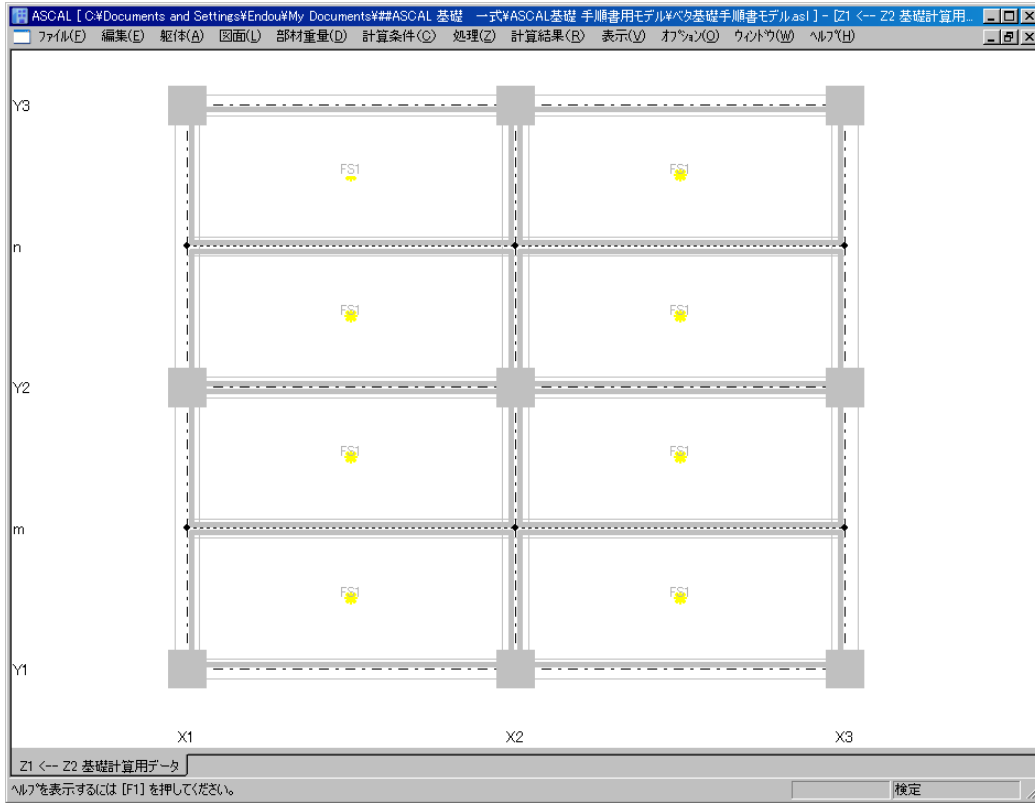
耐水版 なし あり

コピー 貼り付け キャンセル 初期値セット 保存 削除

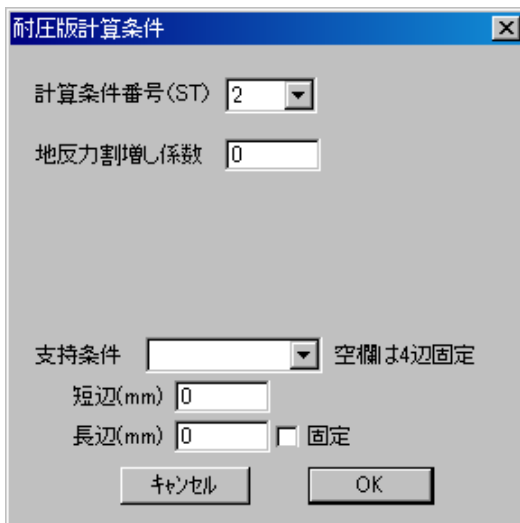
閉じる

(b) 基礎計算条件の配置

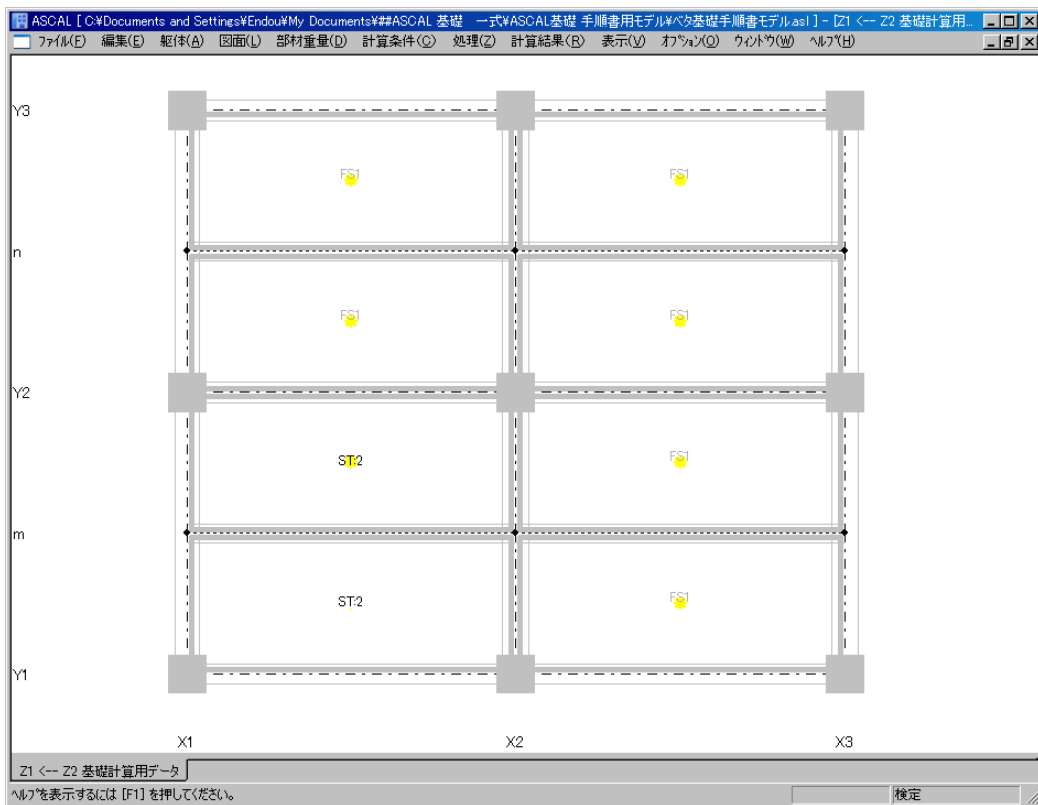
- ・ 層面Z1クリック → 基礎計算用データ → Z1階平面図表示 → 当該耐圧版符号 右クリック → 耐圧版基礎計算条件 → 「耐圧版計算条件」ダイアログ表示 → 計算条件番号2を選択 → OKボタン



- ・ 「耐圧版計算条件」ダイアログ



- ・ 計算条件番号 2 を設定



※ST（計算条件番号）が指定されない場合は、ST : (=1) に設定されます

3-3 基礎地盤データ

◆ ボーリング柱状図データ及び測定位置図データを設定します。

- (1) メニューバー：計算条件 → 基礎地盤データ → 「基礎地盤データ」ダイアログ表示 → ボーリング柱状図データ → 必要項目を下記のように入力 → 保存 → 閉じる

深度 (m) : 1.0
N値 : 2
土質名 : 粘性土

[Q&A No. 11105]

基礎地盤データ

地盤データ | 測定位置図データ

JR: 1 (追加、修正、削除したい計算条件番号)

	層厚 (m)	深度 (m)	N値	土質名
1	1.00	1.00	2	粘性土
2	1.00	2.00	5	粘性土
3	1.00	3.00	10	粘性土
4	1.00	4.00	12	粘性土
5	1.00	5.00	10	砂質土
6	1.00	6.00	13	砂質土
7	1.00	7.00	13	砂質土
8	1.00	8.00	12	砂質土
9	1.00	9.00	14	砂質土
10	1.00	10.00	15	砂質土
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

設計GLとのレベル差(mm) 200

設計水位深度(mm) 2500

コピー 貼り付け キャンセル 初期値セット 保存 削除

閉じる

◆ 測定位置図データを設定します。

- (2) メニューバー：計算条件 → 基礎地盤データ → 「基礎地盤データ」ダイアログ表示 → 測定位置図データ → 必要項目を下記のように入力 → 保存 → 閉じる

敷地境界 XY データ (mm) : 0 0
建物形状 XY データ (mm) : 14000 2000
測定位置 XY データ (mm) : 16000 7500

・ 計算書出力表示するためのデータであり、基礎計算には無関係なデータです。

[Q&A No. 11105]



3-4 耐圧版設定

◆ 耐圧版 F1 を設定します。

(1) メニューバー：躯体 → 部材 → 耐圧版 → 「部材リスト耐圧版」ダイアログ表示
→ 必要データを下記のように入力

※・計算対象配筋 と 部材リスト配筋との対応を下記に示します

F S1

- ・短辺柱間帯端部 D16 / D16 @200 (150) : [短辺方向端部下端筋]
- ・短辺柱間帯中央 D13, D16 / D13 @200 (200) : [短辺方向中央上端筋]
- ・長辺柱間帯端部 D13 / D13, D16 @250 (200) : [長辺方向端部下端筋]
- ・長辺柱間帯中央 D13, D16 / D13 @250 (250) : [長辺方向中央上端筋]

[Q&A No. 11203]

ASCAL [C:\Documents and Settings\Endou\My Documents\ASCAL 基礎 一式\ASCAL基礎 手順書用モデル\beta基礎手順書モデル.asl]

ファイル(F) 編集(E) 躯体(A) 図面(L) 部材重量(D) 計算条件(C) 処理(Z) 計算結果(R) 表示(V) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

上端筋径 [2種径] [/下端筋径] [2種径] 上端ピッチ(下端)
※図の上半分は短辺方向、下半分は長辺方向を示す。

① 短辺柱間帯端部
② 短辺柱間帯中央
③ 短辺柱列帯
④ 長辺柱間帯端部
⑤ 長辺柱間帯中央
⑥ 長辺柱列帯
※図の上半分は短辺方向、下半分は長辺方向を示す。

FS1	
スラブ厚さmm	400
短辺柱間帯端部	D16/D16 @200(150)
短辺柱間帯中央	D13 ,D16/D13 @200(200)
短辺柱列帯	
長辺柱間帯端部	D13/D13 ,D16 @250(200)
長辺柱間帯中央	D13 ,D16/D13 @250(250)
長辺柱列帯	

部材リスト -- 耐圧版 [部材数: 1]

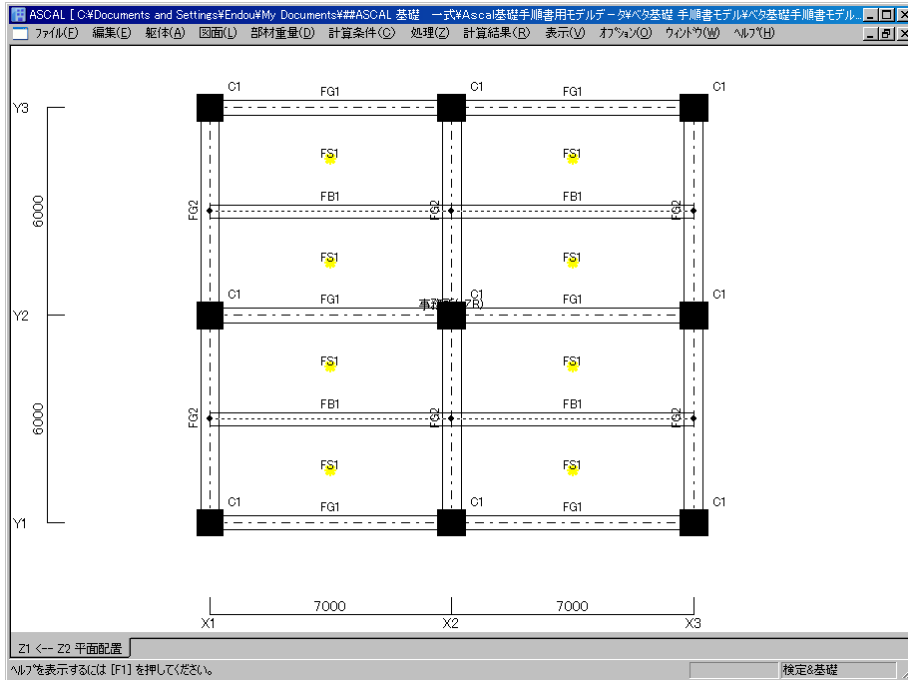
ヘルプを表示するには [F1] を押しください。

応力&基礎

3-5 耐圧版配置

◆ 耐圧版を配置します。

- (1) 層面Z1クリック → 躯体 → 平面配置 → Z1階平面図表示 → メニューバー：
オプション → 床面表示モード切替 → 耐圧版表示モード → 耐圧版入力



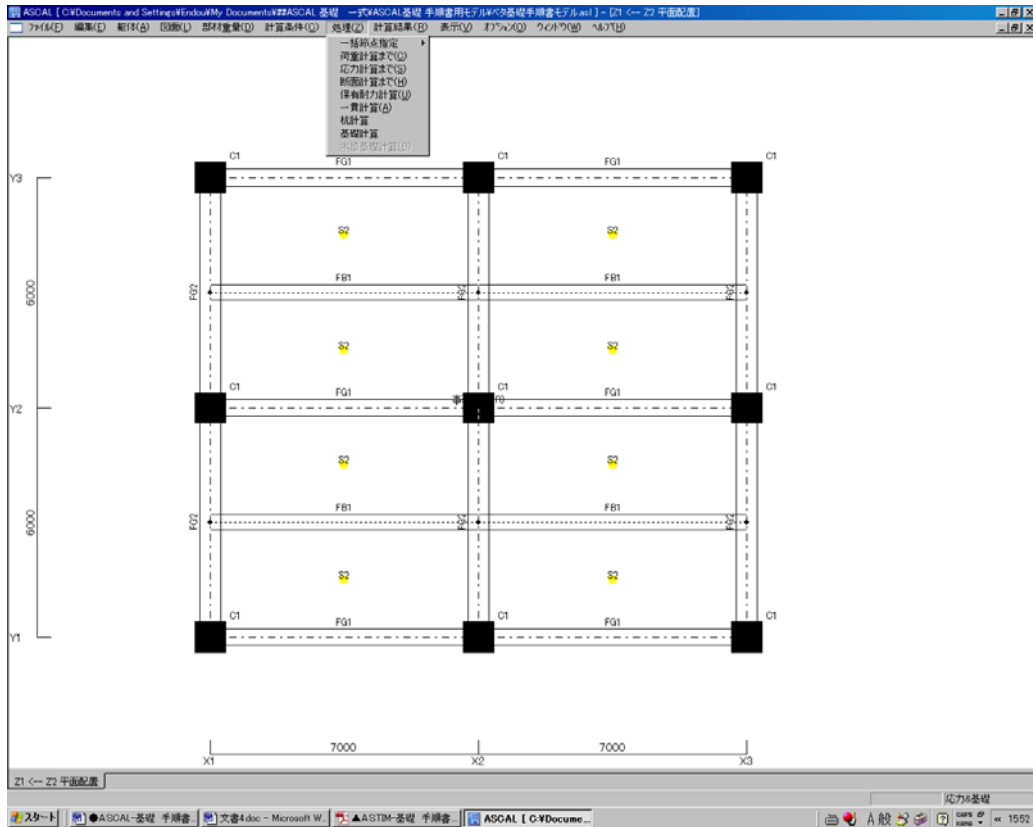
3-6 基礎計算実行

基礎の計算を実行します。

(1) メニューバー：処理 → 「基礎計算」クリック

※ 「基礎計算」がグレー表示の場合は、「応力計算まで」以上の計算を実行して下さい。

※ 基礎梁の計算をする場合は、「断面計算まで」以上の計算を実行して下さい。



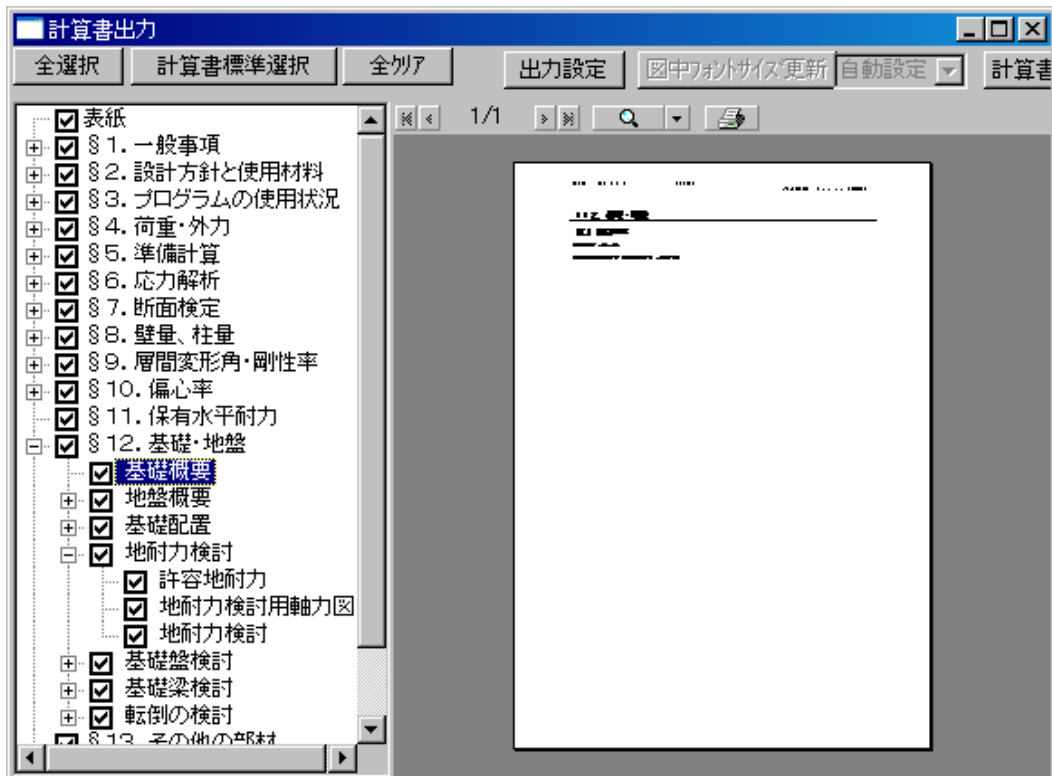
3-7 計算書出力

メニューバー：計算結果 → 計算書出力 → 「計算書出力」ダイアログ表示 → 「§ 12 基礎・地盤」プラスボタンをクリック

※ 以下同様の操作となります。

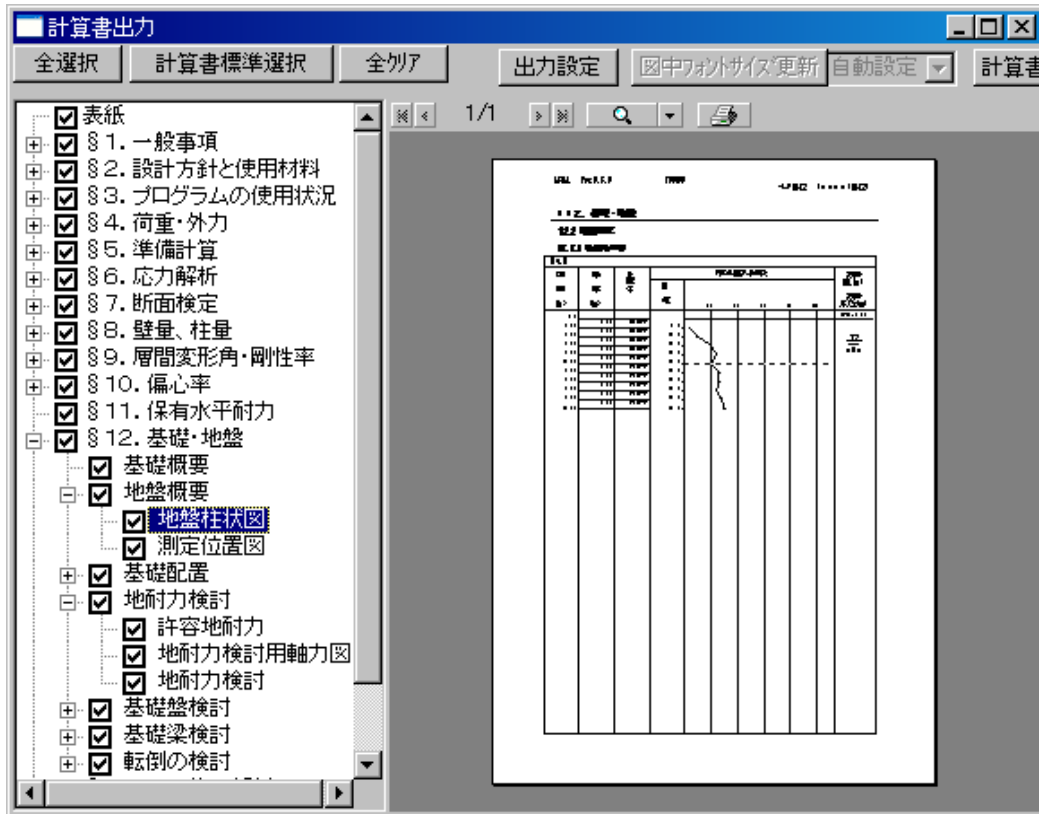
3-7-1 基礎概要

(1) 左欄「基礎概要」ボタンをクリック → 基礎概要 表示

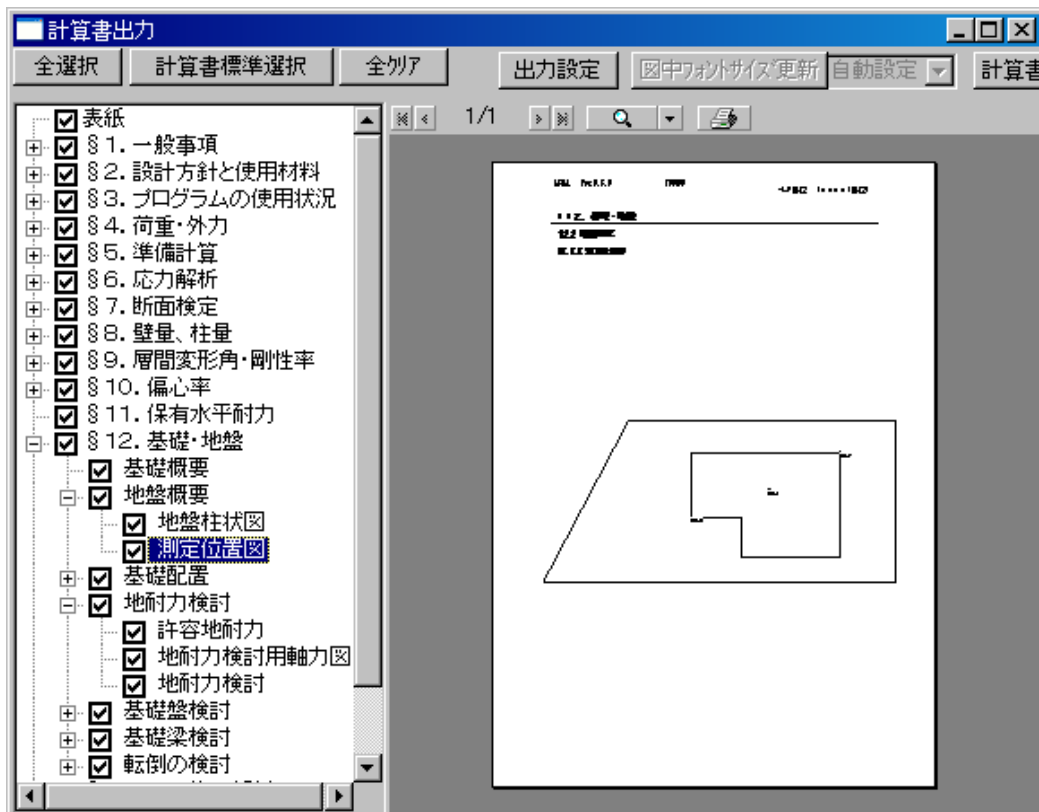


3-7-2 地盤概要

- (1) 左欄「地盤概要」プラスボタンをクリック → 「地盤柱状図」 → 地盤柱状図 表示

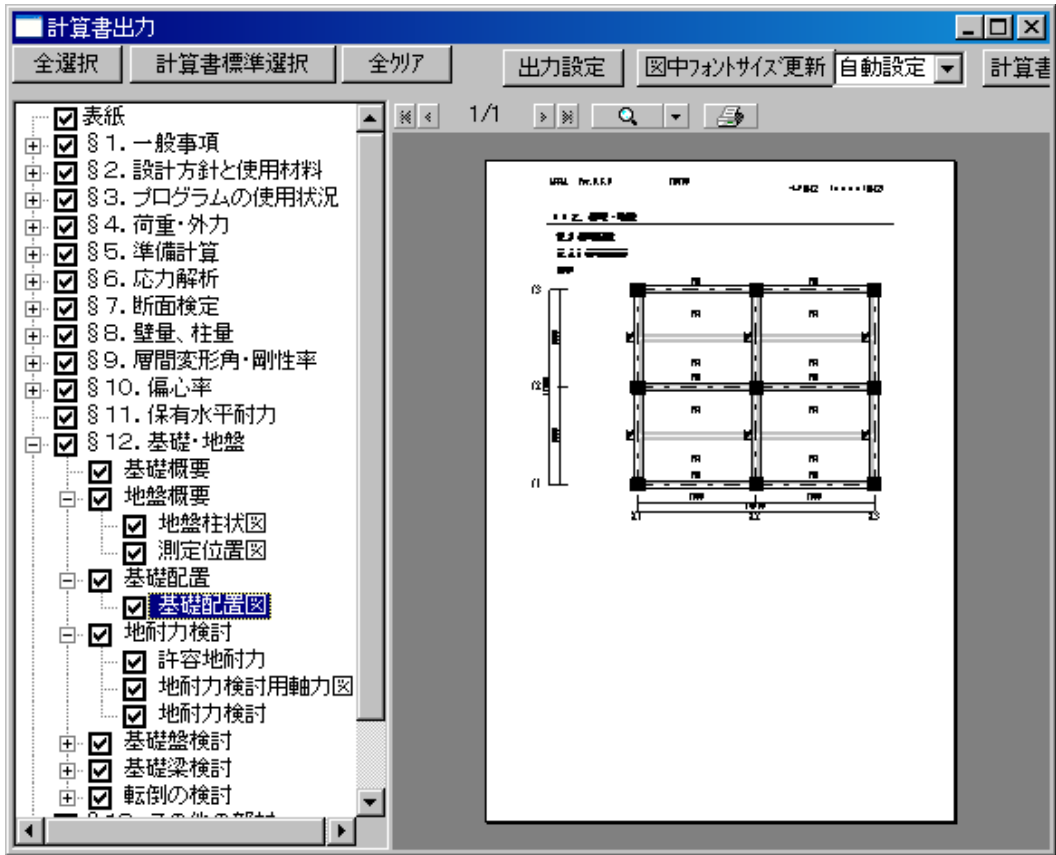


- (2) 左欄「測定位置図」をクリック → 測定位置図 表示



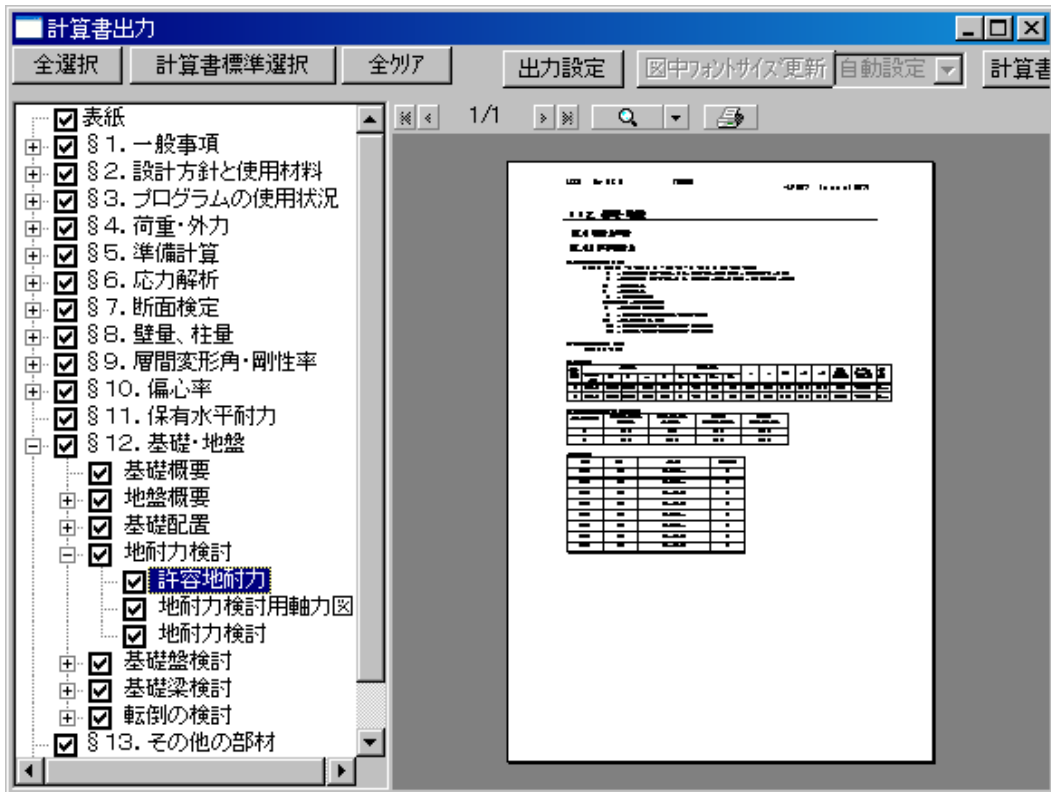
3-7-3 基礎配置

- (1) 左欄「基礎配置」プラスボタンをクリック → 「基礎配置図」 → 基礎配置図 表示

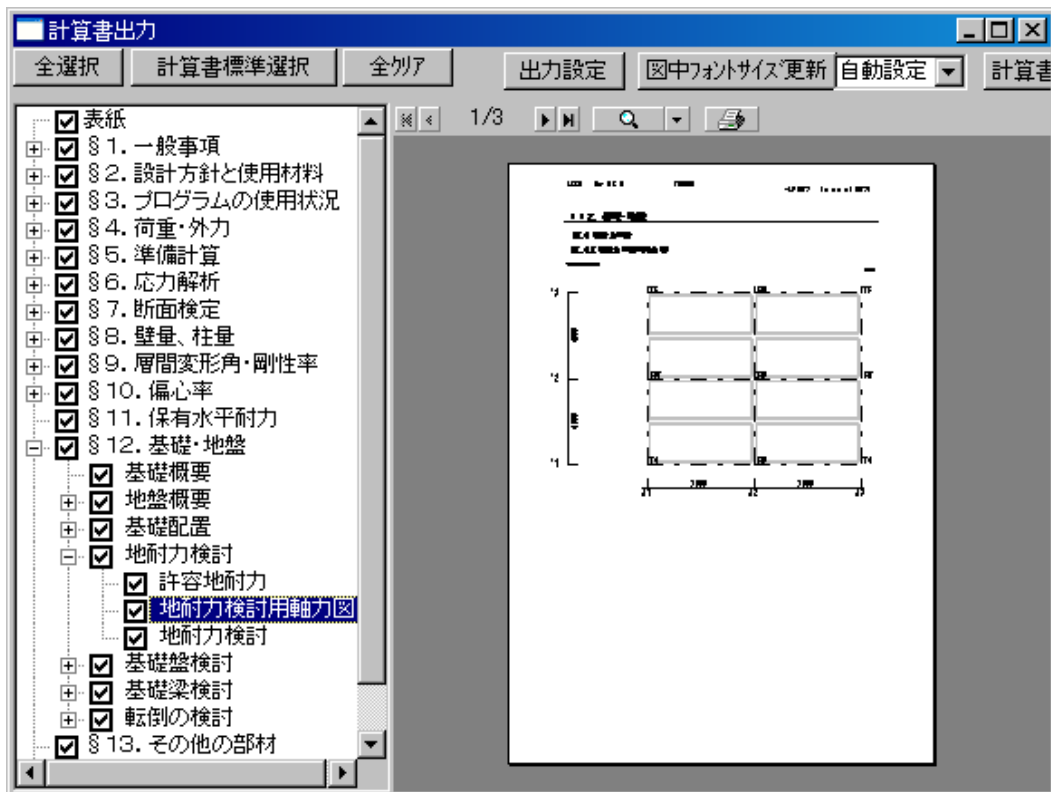


3-7-4 地耐力検討

- (1) 左欄「地耐力検討」プラスボタンをクリック → 「許容地耐力」 → 設計許容地耐力表示

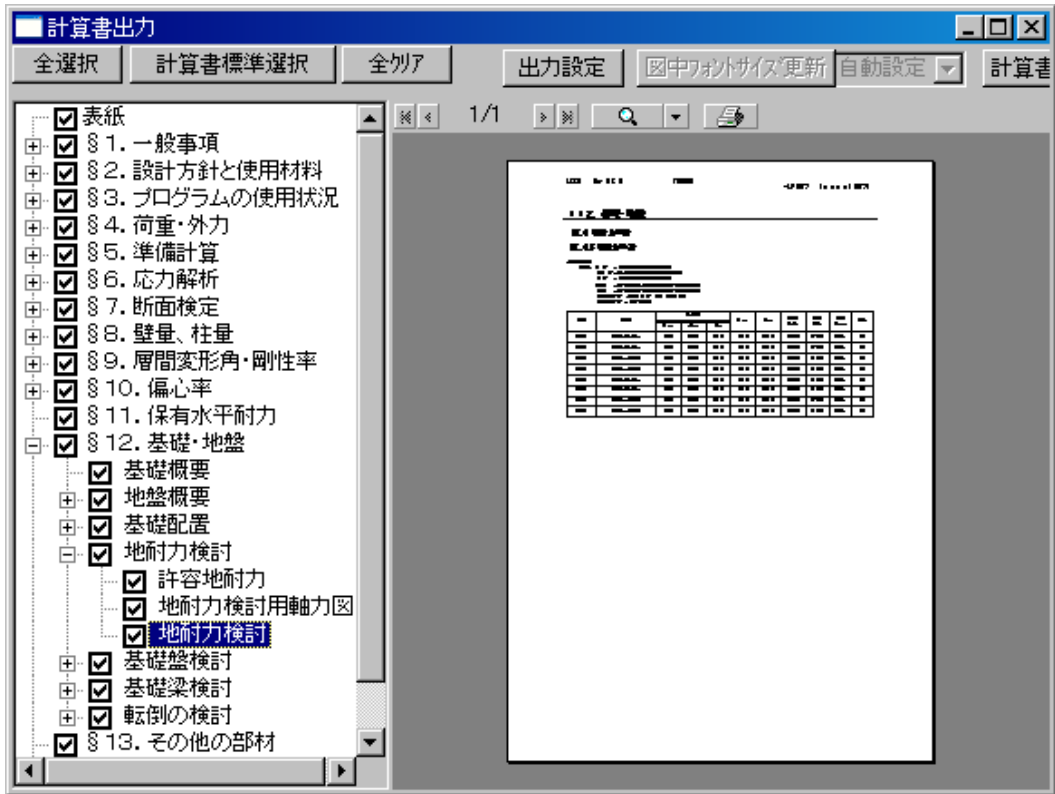


- (2) 左欄「地耐力検討用軸力図」ボタンをクリック → 地耐力検討用軸力図表示



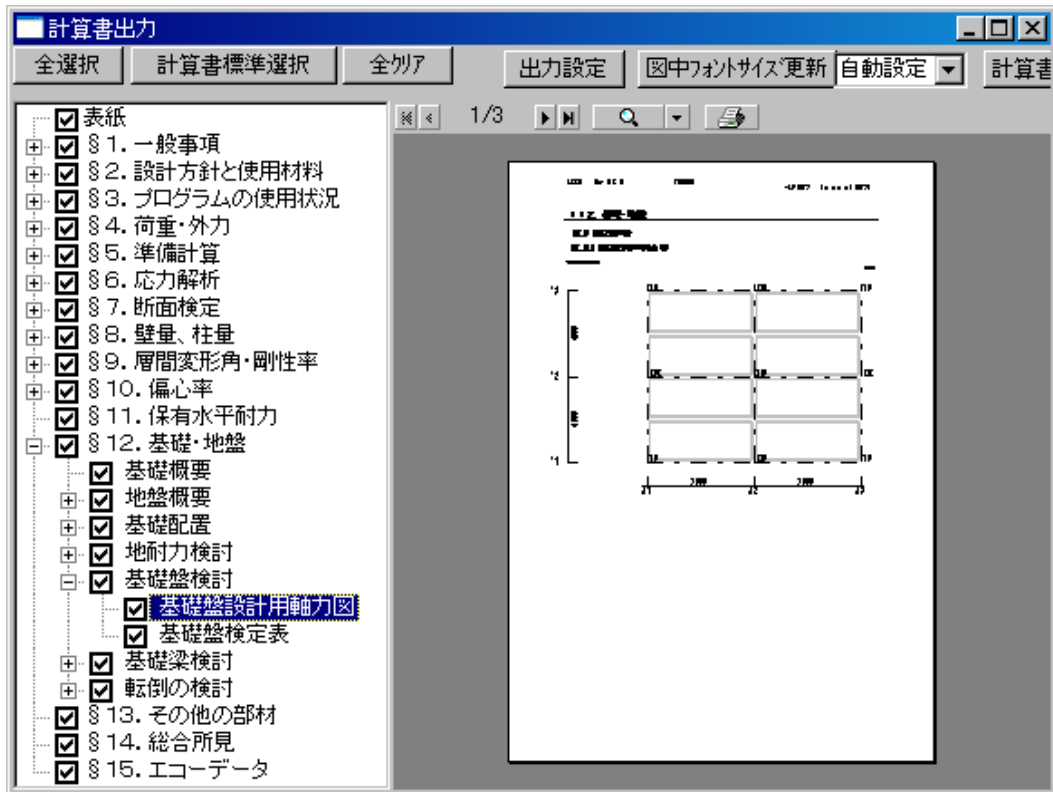
※以下に水平荷重時軸力図を表示します（省略します）

(3) 左欄「地耐力検討」をクリック → 地耐力検討結果表示



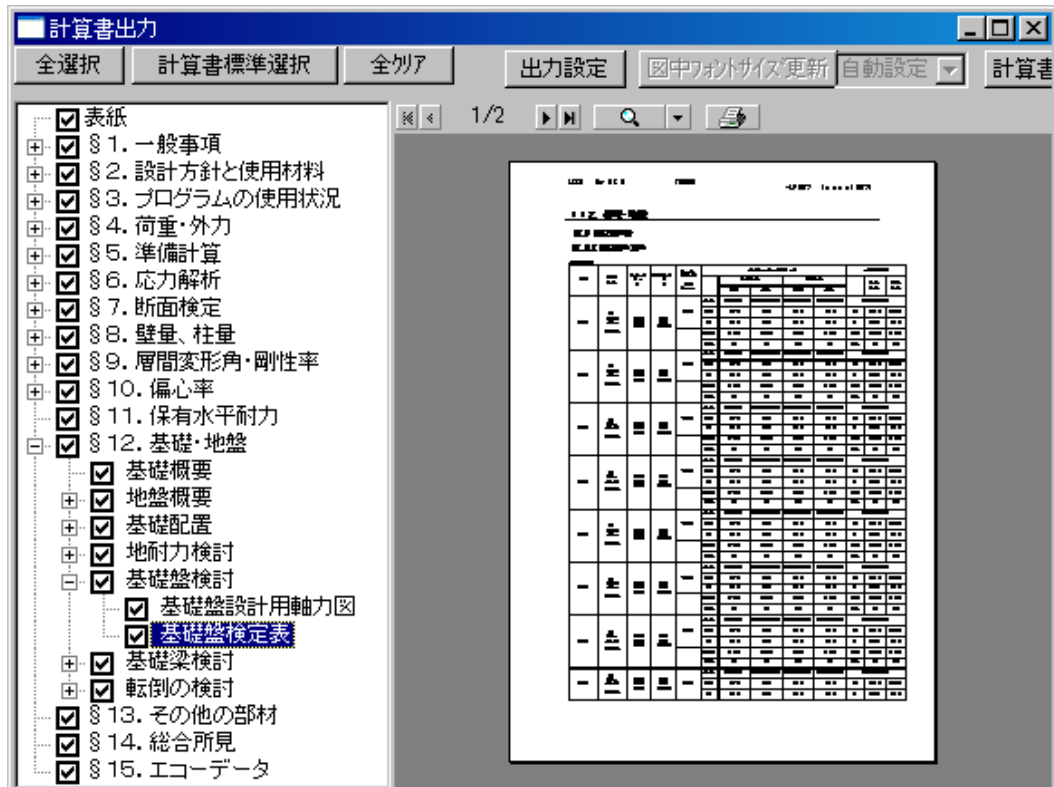
3-7-5 基礎盤検討

- (1) 左欄「基礎盤検討」プラスボタンをクリック → 「基礎盤設計用軸力図」 → 基礎盤設計用軸力図 表示



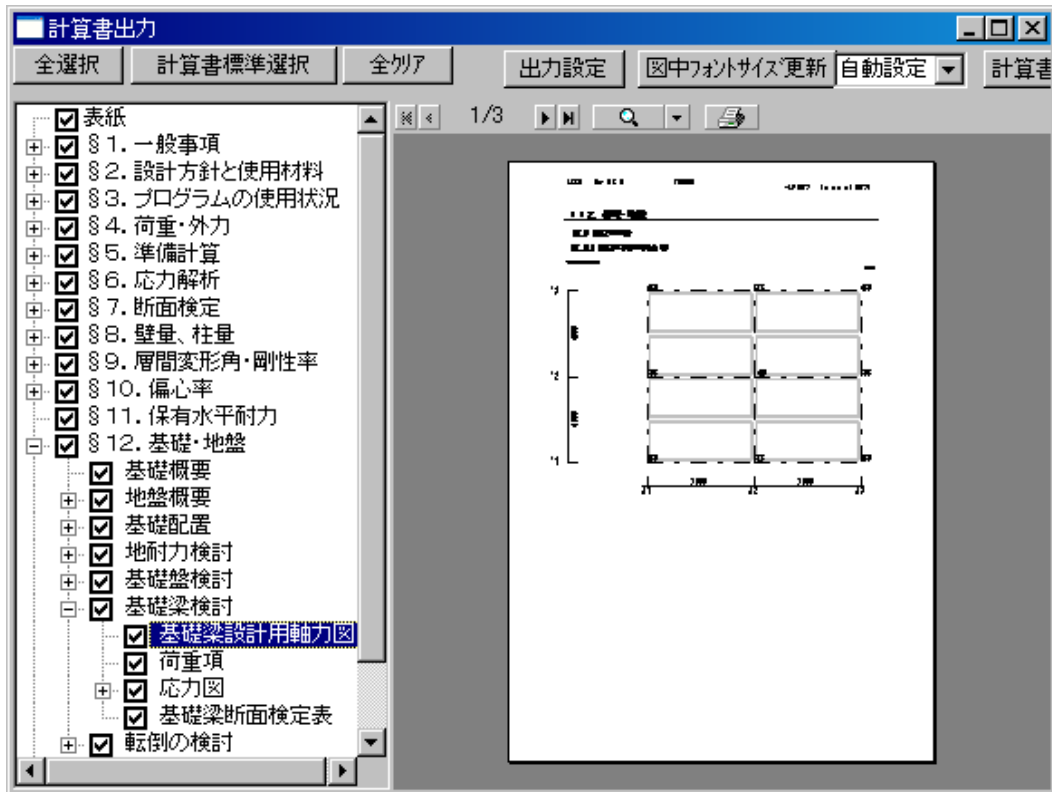
※以下に水平荷重時軸力図を表示します（省略します）

- (2) 左欄「基礎盤検定表」をクリック → 基礎盤検定表 表示



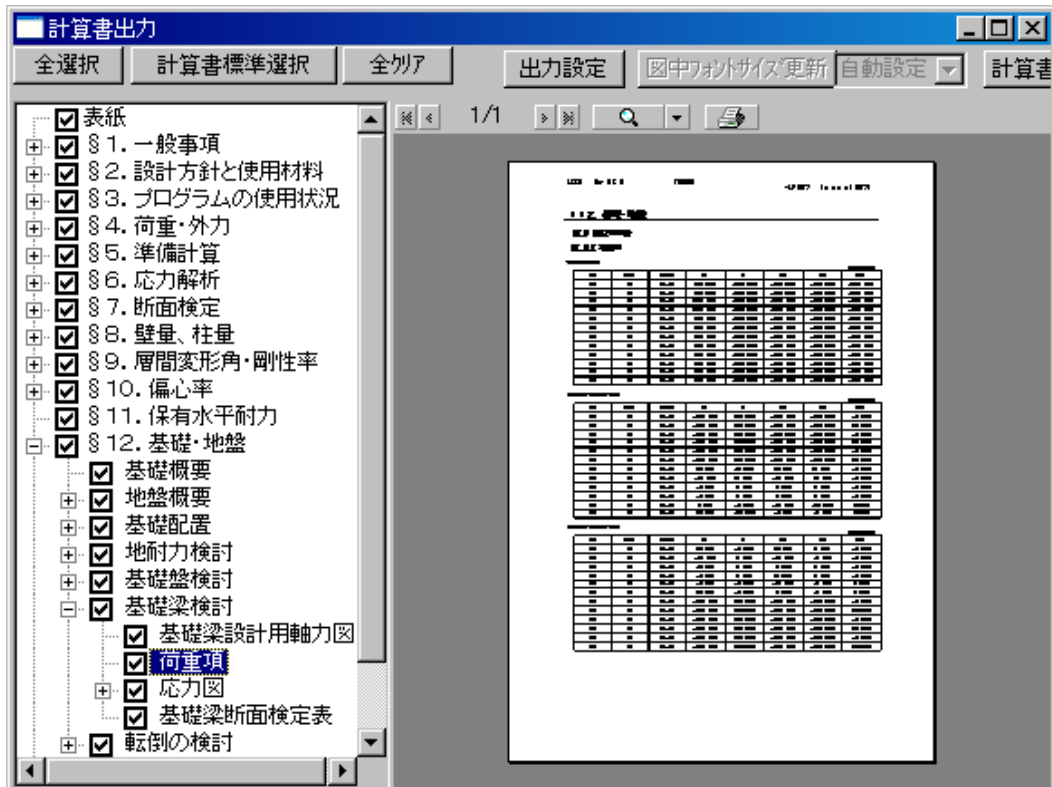
3-7-6 基礎梁検討

- (1) 左欄「基礎梁検討」プラスボタンをクリック → 「基礎梁設計用軸力図」をクリック
→基礎梁設計用軸力図 表示

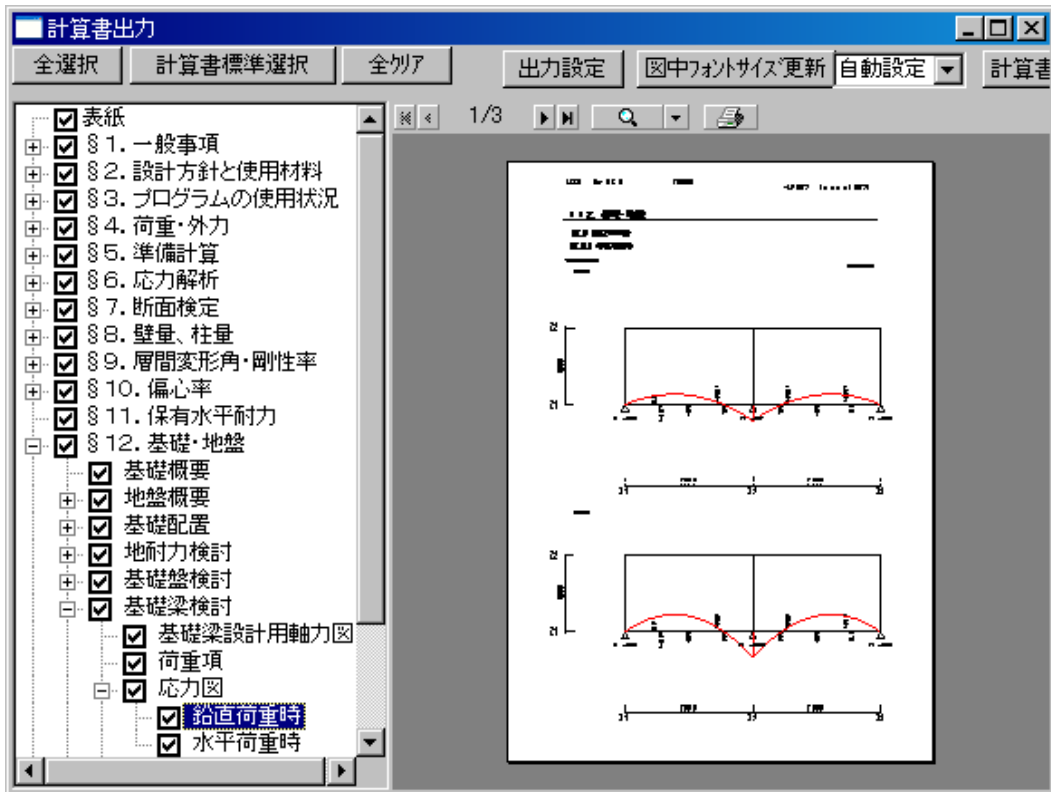


※以下に水平荷重時軸力図を表示します（省略します）

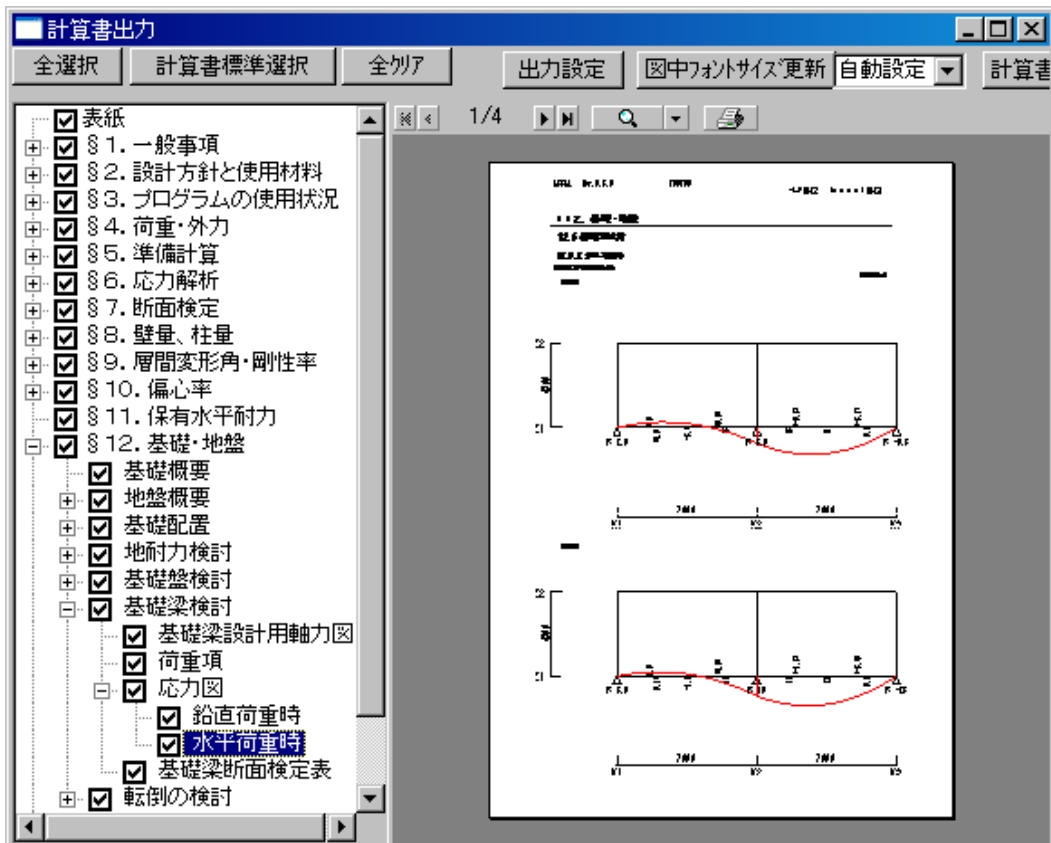
- (2) 左欄「荷重項」をクリック → 基礎梁検討 荷重項 表示



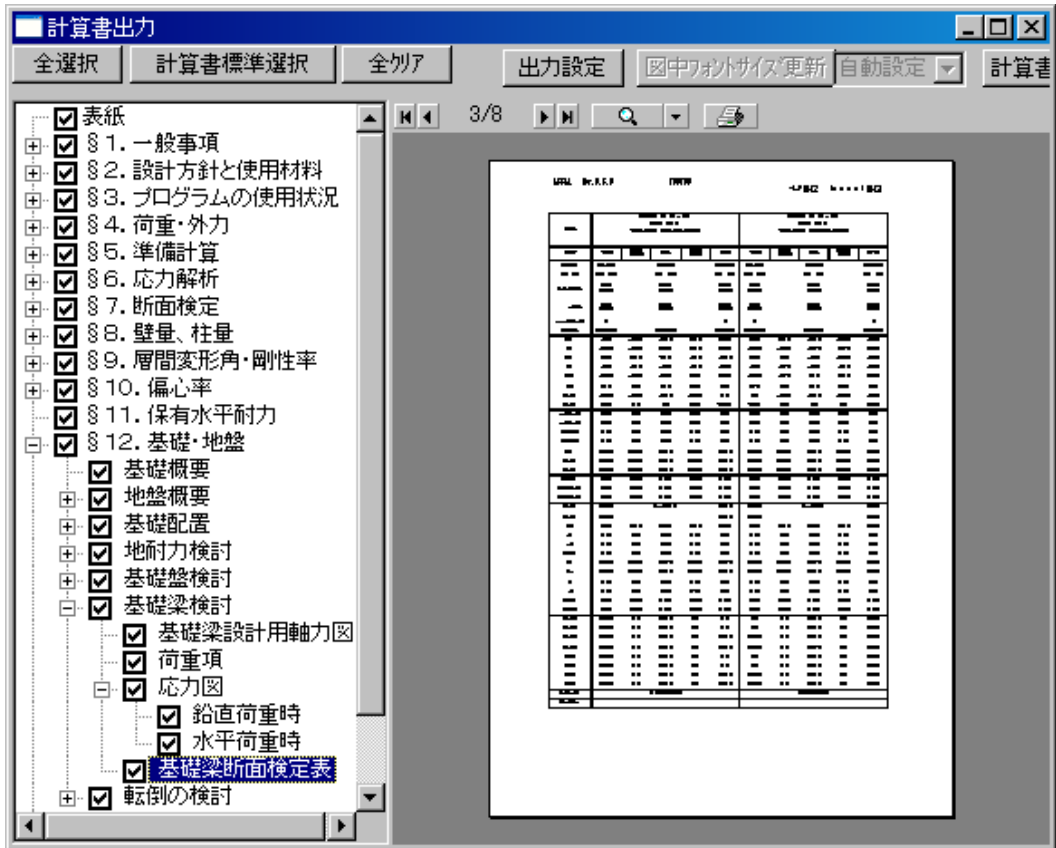
- (3) 左欄「応力図」プラスボタンをクリック → 「鉛直荷重時」をクリック → 応力図
鉛直荷重時 表示



- (4) 左欄「水平荷重時」をクリック → 応力図水平荷重時 表示

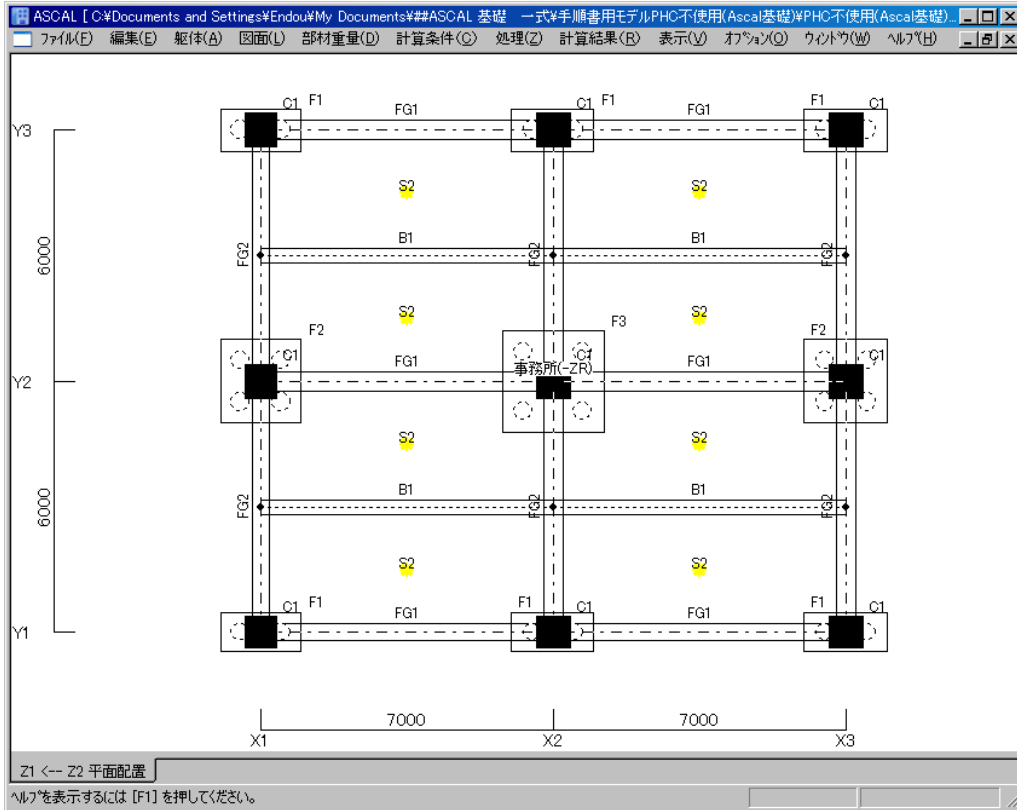


(5) 左欄「基礎梁断面検定表」をクリック → 基礎梁断面検定表 表示



§ 4 杭(PHC)基礎 : 「ASCAL/杭」 不使用

計算用杭配置 (基礎 (Z1階) 伏図)



- ※ F1 : 2 - P12
- F2 : 4 - P12
- F3 : 5 - P12
 - 杭径 P12 : 450φ

4-1 基礎共通計算条件設定

上部建物については、用意されたファイル「ASCAL/基礎手順書用モデル」を使用します。

- (1) ASCAL 起動 → 「ASCAL/基礎手順書用モデル」を開く → メニューバー：計算条件 → 「基礎共通計算条件ダイアログ表示」 → 基礎種類：杭基礎選択 → ASCAL 杭：使用しない → 杭種・設計指針・工法を下図のように設定 → 保存 → 閉じる

4-2 杭耐力の設定

※ [「杭基礎」ダイアログ]表示・準備設定 (P 30・31 参照) →

- (1) メニューバー：計算条件 → 個別基礎計算条件 → 杭基礎 → 「杭基礎」ダイアログ表示 → 杭軸径 (拡底径)・長期許容支持力 入力 → 保存 → 閉じる

[「杭基礎」ダイアログ]

個別基礎計算条件

直接基礎 杭基礎

ASCAL/杭 を使用しない場合

	杭符号	杭軸径(mm)	拡底径(mm)	長期許容支持力(kN/本)
1	P11	400	0	520.0
2	P12	450	0	650.0

キャンセル 初期値セット 保存

閉じる

※ [「杭基礎」ダイアログ]表示・準備設定

(a) [PHC]リスト設定

メニューバー：躯体 → 材料 → 杭リスト → 「PHC」ダイアログ表示 → 有効、
ダミーデータ 入力 → 閉じる

有効データ

- ・登録番号
- ・杭種
- ・杭径

ダミーデータ：（計算に使用されないが設定上必要なデータ）

- ・厚さ～換算断面係数（計 10 データ、値は自由です）

（注）コメント（部材名称）の入力は自由です

登録番号	コメント (部材名称)	杭種	杭径 mm	厚さ mm	杭材 種類	コンクリート 強度 Fc N/mm ²	有効 プレストレス σe Nmm ²	断面積 Ac ×10 ² mm ²	換算断面積 Ae 10 ² mm ²	断面二次 モーメント Io ×10 ⁴ mm ⁴	断面一次 モーメント So ×10 ³ mm ³	換算断面 二次モーメント Ie ×10 ⁴ mm ⁴	換算 断面係数 Ze ×10 ³ mm ³
1		PHC	400	6500	A	80.00	4.00	600.0	700.0	90000.0	3600.0	5300.0	4000.0
2		PHC	450	7000	A	80.00	4.00	600.0	700.0	90000.0	3600.0	5300.0	4000.0

(b) [杭設定]

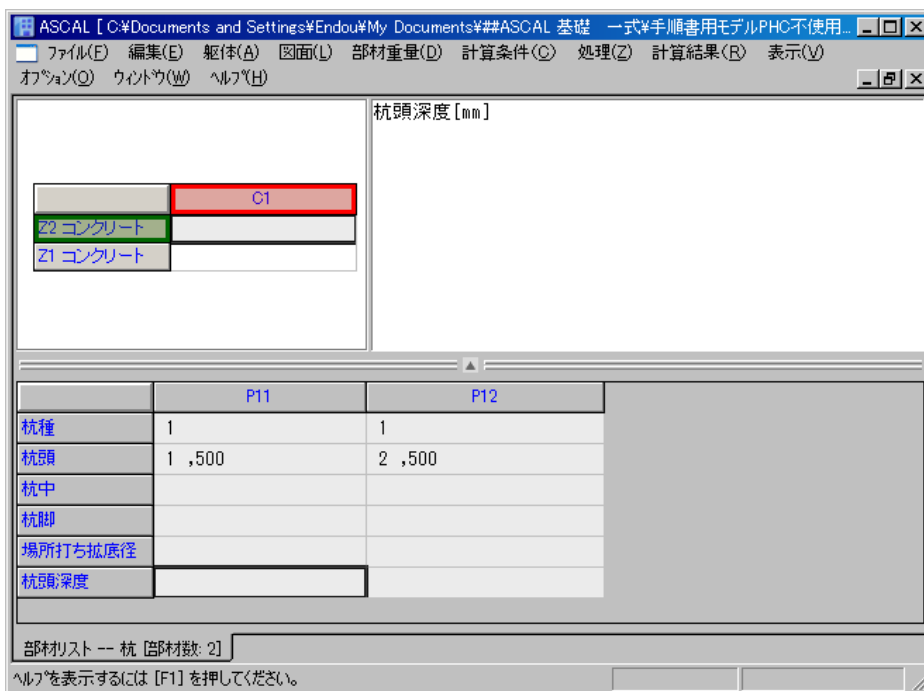
メニューバー：躯体 → 部材 → 杭設定 → 「杭設定」ダイアログ表示 → 有効、
ダミーデータ 入力 → 閉じる

有効データ

- ・ 杭符号
- ・ 杭 種
- ・ 杭頭杭登録番号 : 1,

ダミーデータ : (計算に使用されないが設定上必要なデータ)

- ・ 杭頭杭区間長 : 500 (区間長値は自由です)



4-3 基礎盤設定

◆ 基礎盤 F1～F3 を設定します。 [Q&A No. 10504]

- (1) メニューバー：躯体 → 部材 → 独立基礎 → 「部材リスト-独立基礎」ダイアログ表示
→ 必要データを下記のように入力

[Q&A No. 11203]

1種筋径(2種筋径)ピッチ
1種筋径 端部の基礎筋の径
(2種筋径) 端部の2種類目の基礎筋の径
ピッチ 端部の基礎筋のピッチ
※2種筋径は、省略可

① 端部の基礎筋がD16、ピッチが200mmの場合
→ D16 200 又は D16 @200

	F1	F2	F3
フーチング	1200(1200) l:-2200 n:2	1200(1200) l:-2200 n:4	1200(1200) l:-2200 n:5
杭配置	1000 e:500(1) k:P12	1000 e:500(1) k:P12	1000 e:500(1) k:P12
X方向中央配筋	7 D16 d:1000	7 D16 d:2000	7 D19 d:2400
X方向端部配筋			
Y方向中央配筋	5 D18 d:2000	7 D18 d:2000	7 D18 d:2400
Y方向端部配筋			

操作方法: 表の列ヘッダを右クリックして部材追加・削除・名称変更・表示順番変更は行います。

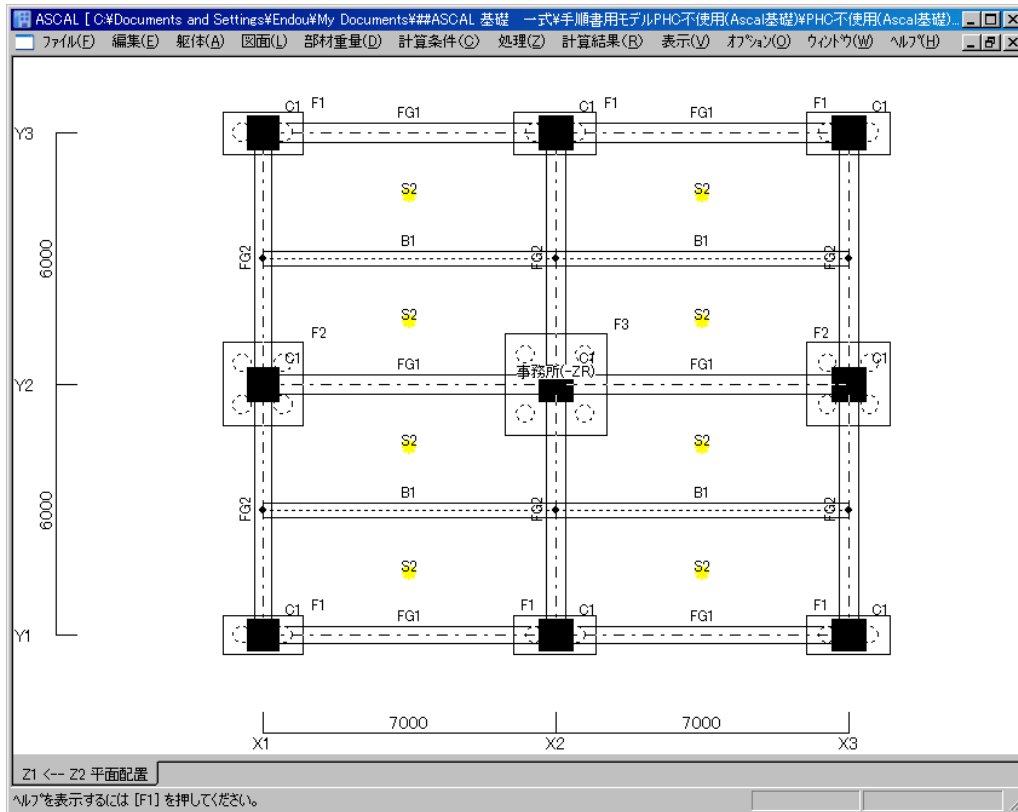
部材リスト -- 独立基礎 [部材数: 3]

ヘルプを表示するには [F1] を押してください。

4-4 基礎盤配置

◆ 基礎盤を配置します。

- (1) 層面 Z1 クリック → 躯体 → 平面配置 → Z1 階平面図表示 → 柱芯右クリック → 節点部材配置 → 「節点部材配置」ダイアログ表示 → 独立基礎・基礎符号選択 → OK ボタン

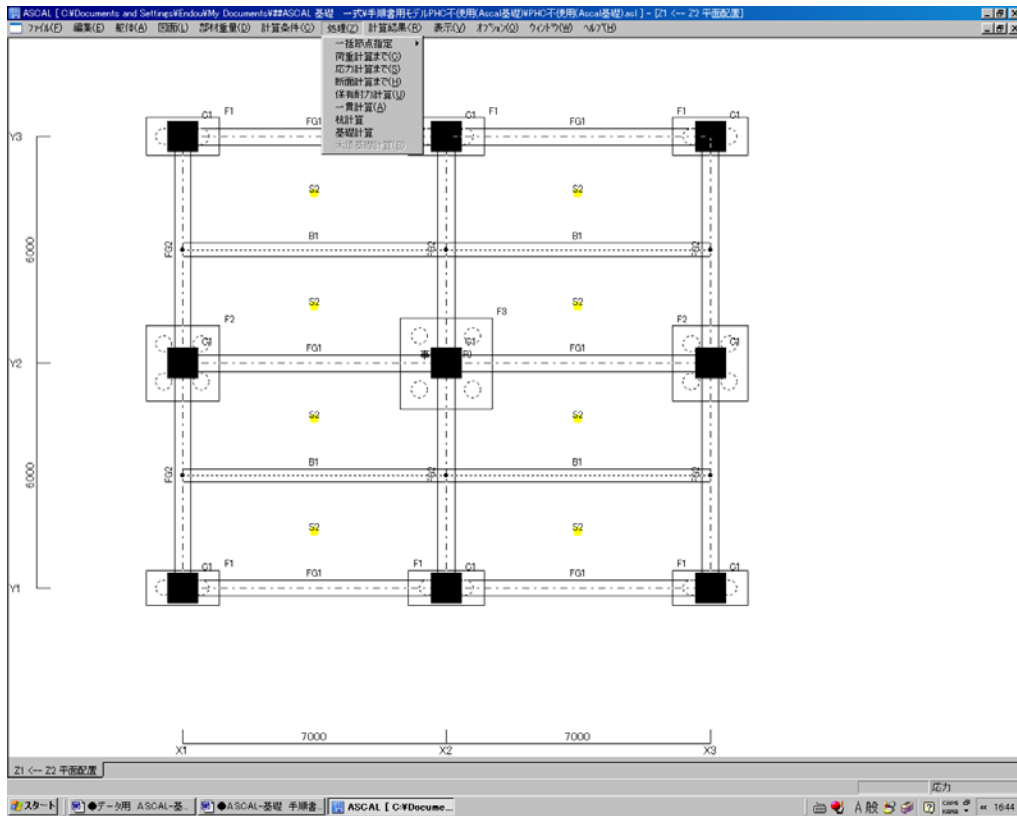


4-5 基礎計算実行

基礎の計算を実行します。

(1) メニューバー：処理 → 「基礎計算」クリック

※ 「基礎計算」がグレー表示の場合は、「応力計算まで」以上の計算を実行して下さい。



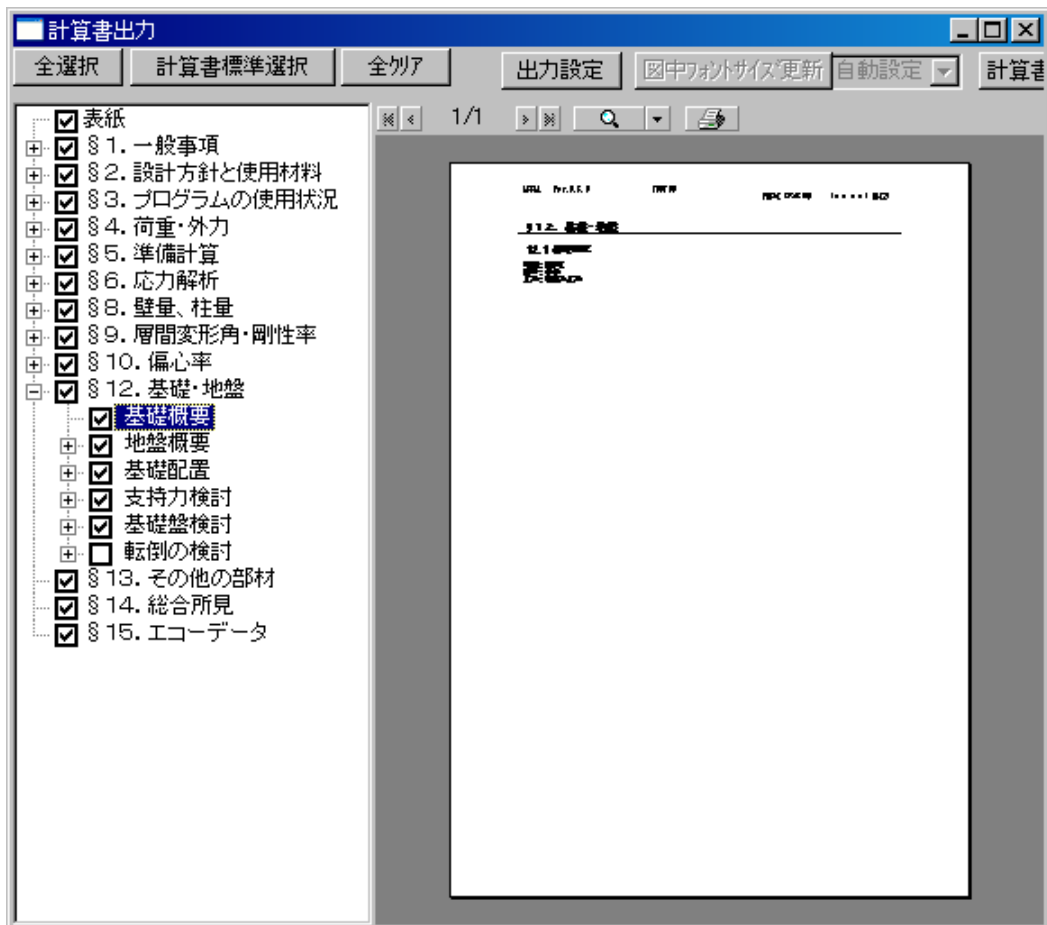
4-6 計算書出力

メニューバー：計算結果 → 計算書出力 → 「計算書出力」ダイアログ表示 → 「§12 基礎・地盤」プラスボタンをクリック

※ 以下同様の操作となります。

4-6-1 基礎概要

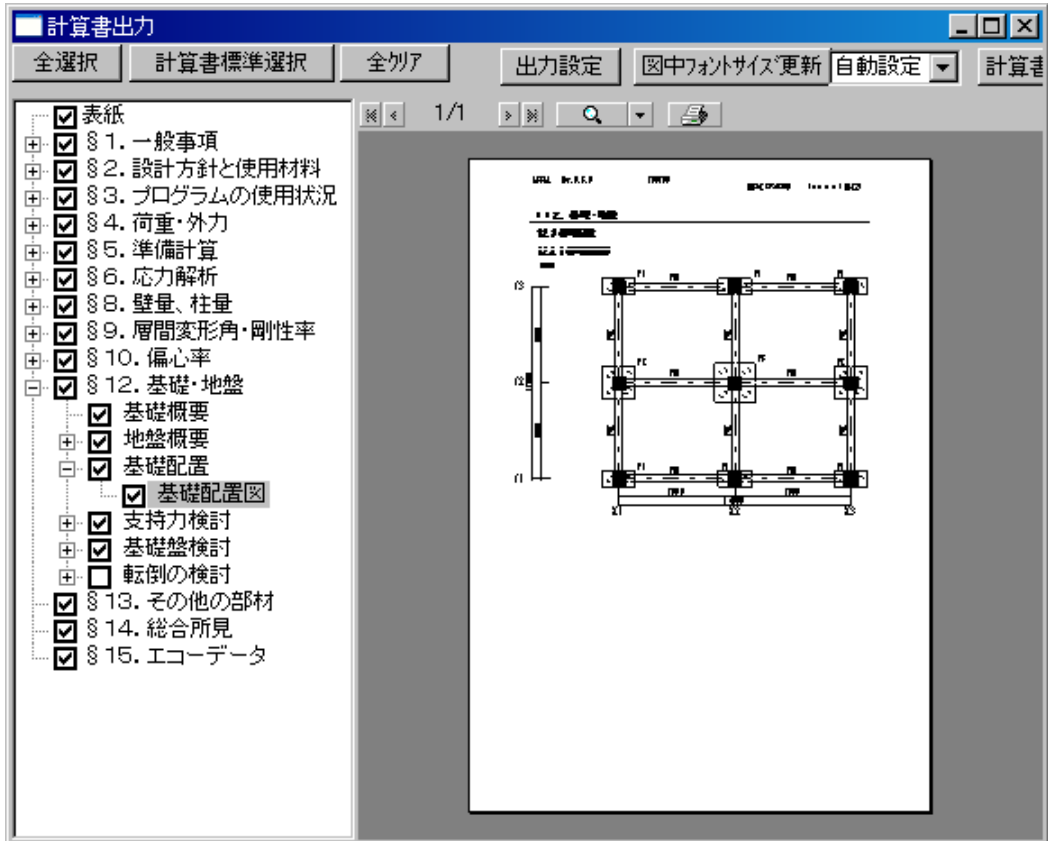
(1) 左欄「基礎概要」ボタンをクリック → 基礎概要 表示



※ 地盤概要は P19 参照。

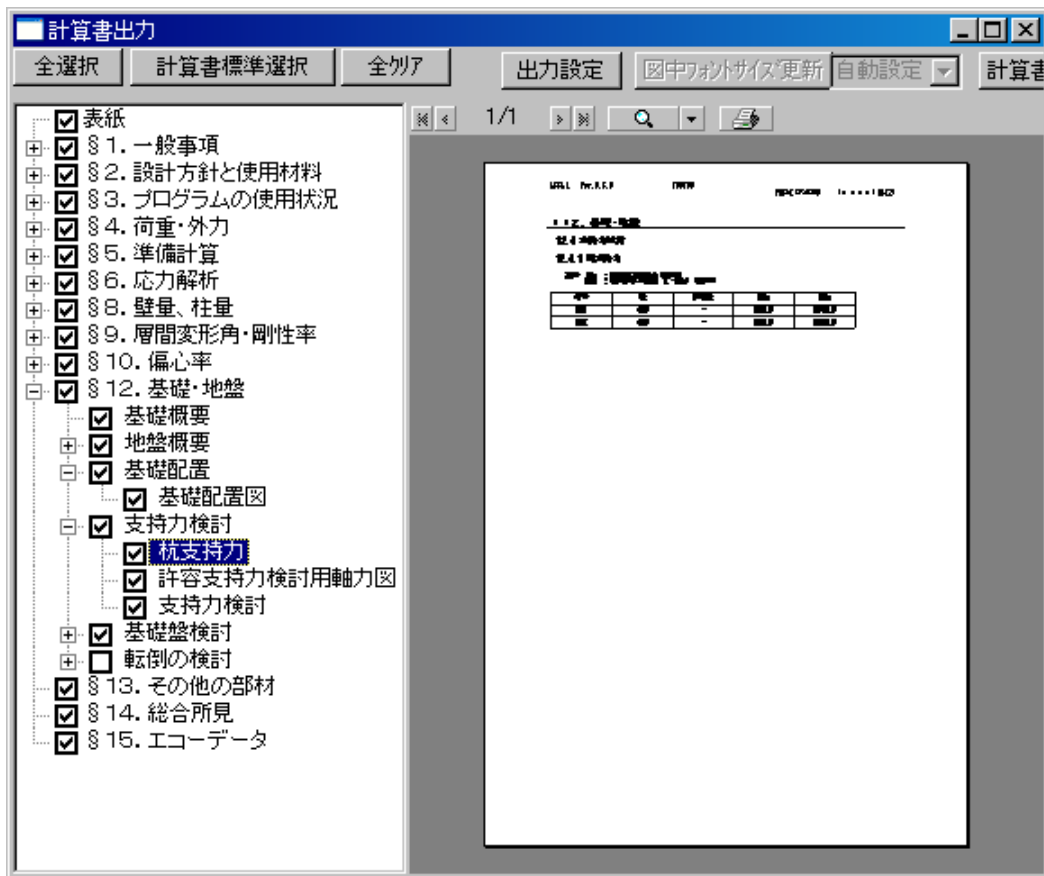
4-6-2 基礎配置

- (1) 左欄「基礎配置」プラスボタンをクリック → 「基礎配置図」 → 基礎配置図 表示

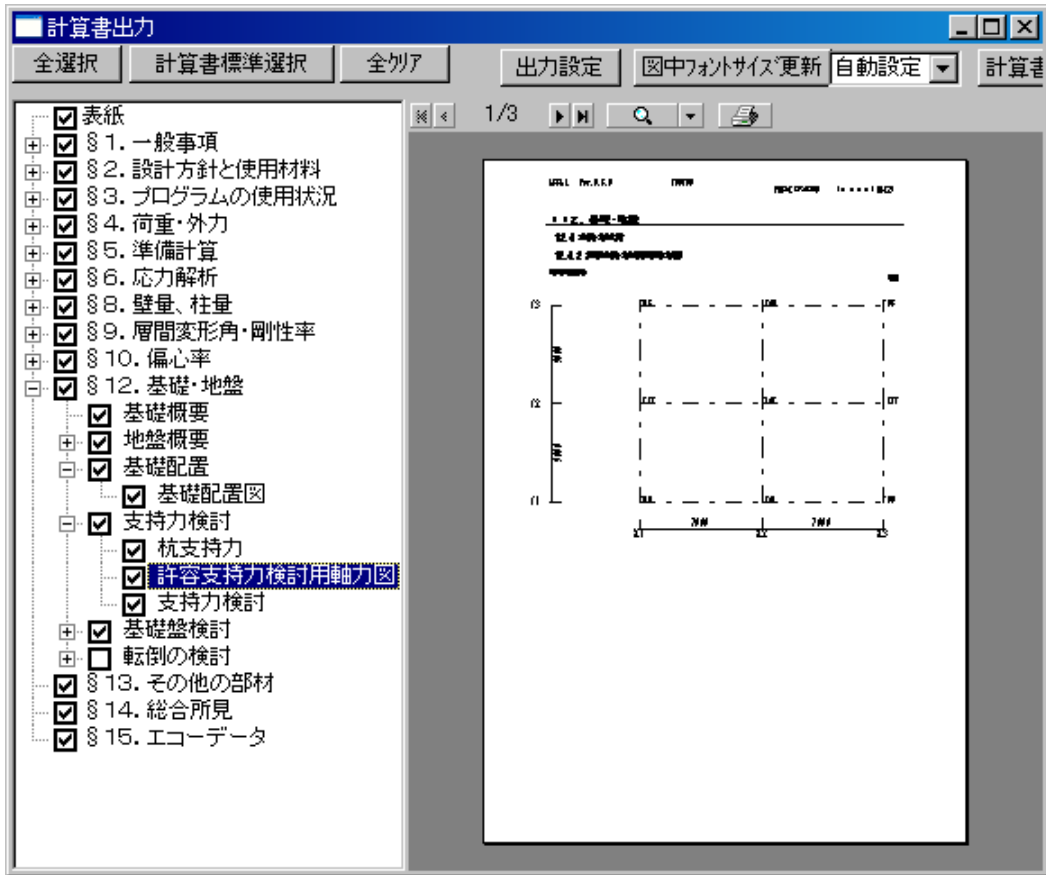


4-6-3 支持力検討

- (1) 左欄「支持力検討」プラスボタンをクリック → 「杭支持力」 → 杭支持力表 表示



(2) 左欄「許容支持力検討用軸力図」をクリック → 許容支持力検討用軸力図 表示



※以下に水平荷重時軸力図を表示します（省略します）

(3) 左欄「支持力検討」をクリック → 支持検討結果表示

The screenshot shows the '計算書出力' (Calculation Output) application window. The left sidebar contains a tree view of calculation items, with '支持力検討' (Bearing Capacity Check) selected. The main window displays a table of results for this check.

Table 1: 基礎概要 (Foundation Summary)

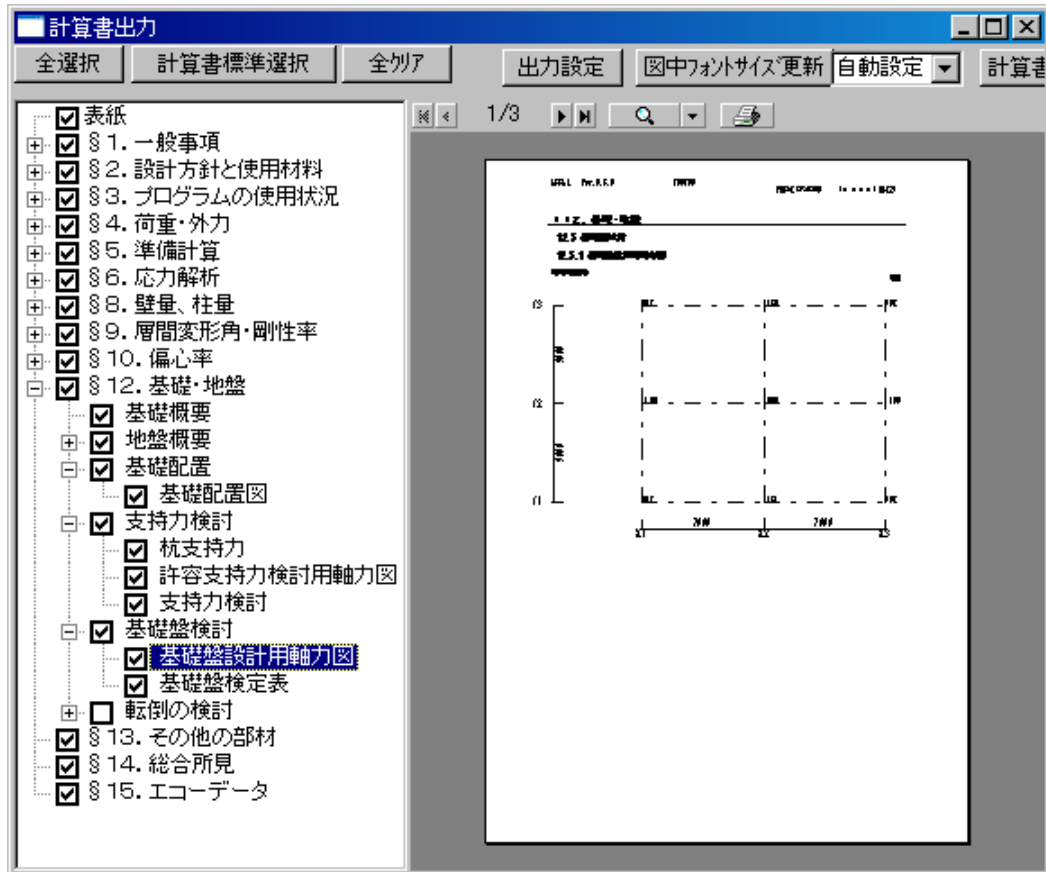
基礎No.	基礎種別	基礎径	基礎深	基礎形状	基礎位置	基礎状態	基礎強度	基礎耐力	基礎安全率
001	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
002	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
003	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
004	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
005	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
006	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
007	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
008	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
009	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
010	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00

Table 2: 基礎耐力 (Foundation Capacity)

基礎No.	基礎種別	基礎径	基礎深	基礎形状	基礎位置	基礎状態	基礎強度	基礎耐力	基礎安全率
001	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
002	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
003	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
004	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
005	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
006	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
007	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
008	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
009	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00
010	独立基礎	1000	1000	円形	柱上	正常	1000	1000	1.00

4-6-4 基礎盤検討

- (1) 左欄「基礎盤検討」プラスボタンをクリック → 「基礎盤設計用軸力図」 → 基礎盤設計用軸力図 表示



※以下に水平荷重時軸力図を表示します（省略します）

(2) 左欄「基礎盤検定表」をクリック → 基礎盤検定表 表示

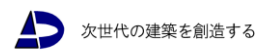
The screenshot shows the '計算書出力' (Calculation Output) application window. The left sidebar contains a tree view of calculation items, with '基礎盤検定表' (Foundation Plate Check Table) selected. The main window displays a detailed table of calculation results for foundation plate checks.

The table in the main window is titled '基礎盤検定表' and contains the following columns: 基礎盤名 (Foundation Plate Name), 基礎盤形状 (Foundation Plate Shape), 基礎盤位置 (Foundation Plate Position), 基礎盤面積 (Foundation Plate Area), 基礎盤容積 (Foundation Plate Volume), 基礎盤重量 (Foundation Plate Weight), 基礎盤容積率 (Foundation Plate Volume Ratio), 基礎盤重量率 (Foundation Plate Weight Ratio), 基礎盤容積率 (Foundation Plate Volume Ratio), 基礎盤重量率 (Foundation Plate Weight Ratio), 基礎盤容積率 (Foundation Plate Volume Ratio), 基礎盤重量率 (Foundation Plate Weight Ratio).

基礎盤名	基礎盤形状	基礎盤位置	基礎盤面積	基礎盤容積	基礎盤重量	基礎盤容積率	基礎盤重量率	基礎盤容積率	基礎盤重量率	基礎盤容積率	基礎盤重量率
基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1	基礎盤1
基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2	基礎盤2
基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3	基礎盤3
基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4	基礎盤4
基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5	基礎盤5
基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6	基礎盤6
基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7	基礎盤7
基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8	基礎盤8
基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9	基礎盤9
基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10	基礎盤10
基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11	基礎盤11
基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12	基礎盤12
基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13	基礎盤13
基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14	基礎盤14
基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15	基礎盤15

ASCAL/基礎 操作手順書

第1版 2012年9月



制作・著作 株式会社 **アーキデータ研究所**

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-42-8 ADビル

TEL : 03-5901-9450、FAX : 03-5901-9451

無断転載禁止